

2021 年度

事 業 報 告 書

社会福祉法人 聖ヨハネ会

社会福祉法人聖ヨハネ会

基本理念

カトリックの精神に基づき、永遠の生命を有する人間性を尊重し、「病める人、苦しむ人、弱い立場の人」に奉仕します。

基本方針

1. 援助を必要とする人々をかけがえのない存在として関わり、人間の尊厳にふさわしい医療または福祉を追求しながら、共にいのちの質を高め合う全人格的な援助を行います。
2. 社会福祉の事業として、良質なサービスを提供し、公正に運営します。
3. 法令及び規程に則り、事業を運営します。
4. 地域社会に立脚した事業として、地域の福祉または医療に貢献します。

職員の心得

1. 私たちは法人の理念を理解し、その具体的な実現に努めます。
2. 私たちは自己の使命を認識し、その職能の専門性を十分に発揮するように努力し、各々が役割に応じた自己啓発に努めます。
3. 私たちは社会福祉事業である各施設を相互に理解のもとに、連携、協力を努めます。

活動の理念

病に苦しむ人、ハンディを負った人、自立の困難な人の隣人となって、援助の手を差しのべ、その必要に応じて最善を尽くします。

2021 年度事業報告

目 次

一	法人本部事業報告	2
二	事業経営	5
	1 障害福祉部門	5
	2 高齢福祉部門	27
	3 医療部門	58
	4 公益事業部門	74
	5 収益事業部門	77
三	理事会	78
四	評議員会	82
五	経営会議	83

一 法人本部事業報告

【はじめに】

2021年度は2020年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大によって、東京では緊急事態宣言やまん延防止措置が発令されるなど、大きな制約がある年であった。病院事業をはじめ、高齢福祉部門、障害福祉部門、保育事業、公益事業を展開する当法人にとっては、事業運営上大きな打撃を受ける結果となった。

利用者さんや職員への対策としては、検温の実施等体調管理を行い、手洗いの励行・手指の消毒・マスクの着用・こまめな換気を徹底した。また入所施設においては来園による対面での面会は制限させていただき、リモートによる面会へ切り替えた。食事や行事については、分散しての実施などいわゆる3密にならないよう工夫した。取引業者にも対面での商談等はできるだけ控え、電話やリモート面談にご協力をいただいた。法人内の会議や研修についても同様に、時間短縮しての開催やリモート開催を実行した。

また桜町病院においては発熱外来を設置し、感染症の疑いがある患者さんとそうでない方との導線を分けることでリスク低減を図った。小金井市のワクチン接種における拠点病院として市民への接種に対応した。

オミクロン株へ置き換わった第6波からは、職員や利用者さんの感染が発生し、クラスター防止と安全確保のための対応に追われたが、幸いにも大きな感染拡大にはならず、改めて職員が毎日の緊張した状態の中で懸命に頑張ってくれている賜物と捉えている。

このような状況の中、法人の事業運営としては収支バランスが崩れ財務状況も将来を見据えた対策を検討すべく、毎月理事会を開催し協議してきた。事業の継続性に関する対策として利用率が上がらない中で支出抑制という厳しい判断をすることとなった。

まだまだ先が見えない状況ではあるが、新型コロナウイルス感染症の一日も早い終息を願いつつ、対策を万全にし、利用される方や職員の安全対策を徹底して、滞りなく事業運営を進めていく所存である。

【事業報告】

- 1 理事会において、理事長及び業務執行理事の業務執行状況を報告した。(6月及び11月)
- 2 会計監査人による2021年度の会計監査を実施した。
- 3 所轄庁への現況報告書を整備した。また財務規律の強化として作成義務のある財務諸表等電子開示システムに関する各種データを作成し、社会福祉充実残額を算出した。
- 4 法人機能の強化
 - (1)サービスの質の向上
 - (ア)定款によって定められた「運営協議会」の第9回を2021年7月に、第10回を2022年1月に開催した。利用者家族や民生委員から構成される協議会で、要望や意見を聴く機会となり今後のサービスに反映していくこととなった。
開催日：第9回 2021年7月26日(月) 10:30-11:30
第10回 2022年1月31日(月) 10:30-11:30
 - (イ)法人内の全事業所を対象とした研修会は実施できなかった。
 - (2)地域における公益的な取組の推進
 - (ア)関係団体(全国社会福祉協議会、東京都社会福祉協議会、小金井市社会福祉協議会等)が主催する連絡会等へ参加し、法人間の連携や広域的な取り組みに協力した。(開催はすべてリモート開催)
 - 会議名：東京都社会福祉協議会医療部会
開催日：2021年5月、7月、9月、11月、12月、2022年1月、3月
 - 会議名：全国福祉医療施設協議会
開催日：2021年10月、12月、2022年3月
 - 会議名：東京都社会福祉協議会社会福祉法人経営者協議会
開催日：2021年4月、6月、7月、9月、11月、2022年1月、2月
 - (3)信頼と協力を得るための情報発信
 - (ア)2021年度事業計画及び予算、2020年度事業報告及び決算をホームページへ掲載した。また各事業活動、提供するサービスの内容、公益的な取り組みの実施状況等について、広報誌等を作成し利用者や家族、地域住民に発信した。
 - (イ)コロナ禍における感染に関する取り組みや各施設の活動等を地域の町内会へ知っていただくための「聖ヨハネ会かわら版」を発行した。
 - (4)人材の確保に向けた取り組みの強化
 - (ア)人材採用活動の開始
高齢福祉部門の職員採用等を支援した。
 - (5)組織統治(ガバナンス)の確立
 - (ア)内部管理体制の基本方針に基づき、監事主導のもと外部機関の協力を得ながら、高齢福祉部門組織規程を整備した。
- 5 事業運営に沿った規程類の整備について
各部門において給与規程、就業規則、組織規程、運営規程等について改訂した。

- 6 職員交流を目的としたレクリエーションは実施できなかった。
- 7 小金井訪問看護ステーション、聖ヨハネホスピスケア研究所、シニアハイムさくら及び障害福祉部門東京事業所、高齢福祉部門の会計業務及び事務業務をサポートした。

その他活動については、後述の経営会議の活動実績を参照されたい。

8 庶務・登記・監査事項等

1) 定款変更届

●定款変更

- ① 2021年9月7日 法人の主たる事務所の所在地変更、緑町聖ヨハネケアビレッジの建物を基本財産に組み入れ

2) 登記

登記年月日	登記内容
2021年6月26日	資産の総額 (5,609,782,446 円) (2021年3月31日変更)

3) 指導監査等

実施年月日	内容	監査人等
2022年2月9日	社会福祉法人実地検査(法人、桜町児童ショートステイ)	東京都福祉保健局指導監査部指導第一課障害福祉サービス担当

4) 調査等

提出年月	提出内容	提出先
2021年5月	障害者雇用状況報告書	独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構
2021年6月	社会福祉法人調査票 現況報告書	東京都福祉保健局指導監査部指導調整課指導調整係
2021年7月	事業報告書	独立行政法人 福祉医療機構

二 事業経営

1 障害福祉部門

【 総 括 】

部門の方針及び事業について

2021年度は昨年引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止とコロナ禍での事業継続に取り組んだが、2022年1月から3月にかけて、清瀬、小金井、学園と続けて多数の感染者が発生して対応に追われることになった。幸い重症化には至らなかったが、改めて、いつ・どこでも感染はありうることを認識して今後も感染予防に努めたい。

課題である利用者の重度化・高齢化対応に取り組み、GHについては賃借状況等も勘案して再編を進めてきたが、明見聖ヨハネケアビレッジの方向性は次年度に持ち越しとなった。コロナ禍の影響で学園の入所定員に空きが出ている状況も踏まえ、2022年度は具体的に進めたい。

財務状況について

障害福祉部門は、東京都民及び山梨県民向けの事業を行っており、事業内容も入所・通所施設から相談支援まで幅広い。性質上採算が見合わない事業もあるが、障害者支援における聖ヨハネ会の実践等を勘案すると、どの事業も必要不可欠であるとともに相互の協働・補完関係にあることから部門全体で取り組むことを指針としている。

新型コロナウイルス感染状況が長期化する中で、昨年は影響を回避できたが、2021年度はクラスターの発生と学園の退所に伴う新規入所手続きの滞り等で部門全体に影響が出た。部門全体で資金収支がマイナスになる状況であるため、事業の見直しを進めながら財務状況の改善を図っていききたい。そのためには、各事業所で定員を充足させていくことを最優先課題としたい。

中期経営計画について

法人理念に則した経営のために、利用率の向上と利用者のニーズに合わせた支援体制の構築に取り組んだが、コロナ禍の影響で利用希望は多いものの利用率に繋がらなかった。利用者支援では利用者の重度化・高齢化が進む中で、可能な限り地域での生活を継続していくための仕組みが必要である。部門として長年培ってきた支援とあきらめない指針を継続しつつ今後も取り組んでいきたい。2021年度はGHの再編検討等を行っている。

今期、中期経営計画の大きな柱として「事業と財務を融合させた中長期の事業見直し」「人材の確保と育成について」「地域公益活動」を掲げている。特に人材関連については年々厳しさが増していることからさらなる強化を図る必要があるが、コロナ禍の影響で採用活動に滞りが出ている側面があり、世情を見据えながら山梨と東京で連携を図り活動していきたい。

次年度に向けて組織体制を改めた。これまで山梨事業所・東京事業所のもと4部体制としてきたが、山梨事業部及び東京事業部の2部体制に変更、その下に各課を置いた。また、山梨と東京の事務管理部門を統合し、障害福祉部門事務管理室に一本化した。これにより、組織の簡素化、業務の効率化、情報の共有及び意思決定の迅速等を図ることにした。新しい組織体制でこれまで以上に理念に基づいた事業運営を進めていきたい。

拠点区分名：富士聖ヨハネ学園

I 事業所名	：富士聖ヨハネ学園
サービス区分名	：施設入所支援事業・短期入所事業・生活介護事業

【2021年度利用状況報告】

種別	定員	現員 (3月末)	1日平均 利用者数	利用率 (R3年度)	利用率 (R2年度)	利用率 (R1年度)
生活介護 R1.4～	154人	130人	128人	83.1%	87.6%	92.8%
施設入所支援 R1.4～	122人	119人	116人	95.1%	97.5%	98.3%
短期入所 R1.4～	8人	—	3.0人	48.8%	68.8%	68.8%

平均年齢 54.0歳（最高 83歳、最低 23歳）
 男女比率 66名（男子）：64名（女子） 51：49
 平均在所期間 28.7年（最長 49.7年）
 年間入所 2名 年間退所 2名（死亡） 2名（退所）

【職 員】

	令和3年4月1日 の職員数			年間退任・就任						令和4年3月31日 の職員数		
	正規職員	非正規職員	合計	正規職員		非正規職員		合計		正規職員	非正規職員	合計
				就任	退任	就任	退任	就任	退任			
園長	1		1							1		1
サビ管	5		5							5		5
生活支援員	66	34	100	3	6	7	4	10	10	68	32	100
事務員	4		4							4		4
栄養士・調理員	7	9	16				1		1	7	8	15
設備等	2	6	8				1		1	2	5	7
医師		1	1								1	1
看護師	2		2							2		2
医療事務員		1	1								1	1
合計	87	51	138	3	6	7	6	10	12	89	47	136

*非正規職員については、拠点間異動を含むため合計数値が一致しない。

【施設運営状況】

コロナ禍での利用者の入院の増加、感染予防のための短期入所の利用制限、学園通所利用者の減が、大きく運営と経営にマイナスの影響を及ぼしている。

しかしながら年度後半からは、コロナ禍でできることを模索しながら「感染防止をしながらの利用の促進」に取り組んでいる。コロナ禍を前提とした短期入所の利用方法、入所の取り組みに取り掛かっているが、どうにか体制が整ってきているところである。

【利用者支援状況】

学園では、年間を通して新型コロナウイルス感染症の予防に取り組むとともに、コロナ禍での利用者の「豊かな生活」を模索しながら取り組んでいる。コロナ禍での制約も多かったが、園内での行事を多く行うことができている。(行事委員会及び各課職員による企画と実施。)

また、利用者の精神的な負担を軽減するため各課で生活の様子を伝える通信やオンラインでの面会、感染者の減少しているときの面会の実施等、状況をみながらできることから取り組みを行っている。

以上の取り組みについては、本年度実施された第三者評価でも、利用者、保護者から評価を頂いている。情報の開示と共有は、これからも迅速かつ丁寧に行っていきたい。

【施設整備状況】

敷地内の老朽化した建物の整備(処分)が課題であったが、コロナ禍のため来年度以降の課題となっている。(コロナ禍での感染した利用者を支援する宿泊場所として簡易整備している。)

また、学園入口の接続道路(仮称:新鐘山道路)は、来年度から仮橋の工事が始まる予定であり、今後接続部分の整備が課題となっている。(駐車場等)

【教育研修】 施設支援事業部(富士聖ヨハネ学園)

日 時	研 修 名	会 場	出席者
4月1日	新任職員研修(学園) コロナ禍で分散開催	富士聖ヨハネ学園	2名
4月16日	施設における事故防止・危険予知	オンライン研修	1名
4月～	障害者の支援	オンライン研修	60名
4月20日21日	強度行動障害者支援者養成研修 基礎	青少年センター	3名
4月27日	メンタルヘルス研修 スタッフ	オンライン研修	3名
4月27日	認知症・脳血管障害の摂食嚥下	オンライン研修	3名
5月6日	睡眠薬について	富士聖ヨハネ学園	22名
5月10日	感染症対策研修 ～手洗い～	富士聖ヨハネ学園	95名
5月18日	サービス管理責任者更新研修	青少年センター	2名
5月22日	富士山ハザードマップ研修	ふじさんホール	2名
5月26日	「癒しのマッサージ」手技学習	オンライン研修	3名
6月17日	胸部X線の見方と判断トレーニング	オンライン研修	3名
6月7日～	福祉職員スタートアップ研修	オンライン研修	6名
6月15日	とろみ研修	オンライン研修	3名
6月15日～	糖尿病・摂食嚥下障害 研修	オンライン研修	3名
6月21日	福祉職員スタートアップ研修	オンライン研修	68名
6月21日	ファシリテーション研修	オンライン研修	24名
6月28日	栄養ケアマネジメント	オンライン研修	3名
6月30日～	サービス管理責任者指導者養成研修	オンライン研修	1名
7月1日～	サービス管理責任者基礎研修	オンライン研修	1名
7月3日	利用者さんの服薬している薬を知る	オンライン研修	28名
7月17日	看護が分かる!アセスメントエコー	オンライン研修	3名

8月19日	高齢者ケア フットケア	オンライン研修	3名
9月1日～	喀痰吸引研修	オンライン・現地演習	3名
9月4日5日	社会福祉士指導者研修	オンライン研修	1名
9月～	職員のためのメンタルヘルス研修	オンライン研修	68名
9月～	ハラスメント防止研修（管理・監督者）	オンライン研修	48名
9月～	管理者のためのメンタルヘルス講習会	オンライン研修	14名
10月～	「愛すること ともに生きること」	オンライン研修	12名
10月～	職員のためのメンタルヘルス2	オンライン研修	78名
10月14日	ハラスメントを起こさない職場 管理者	オンライン研修	1名
10月15日	日中活動支援部会研修	オンライン研修	1名
11月～	緊急時の対応を知ろう	オンライン研修	74名
11月～	ソーシャルワーク（支援）	オンライン研修	16名
12月9日	高齢知的障害者の健康	オンライン研修	1名
12月14日	虐待防止研修	オンライン研修	1名
12月15日	新型コロナウイルス感染予防研修	オンライン研修	1名
1月21日	ガウンテクニック研修（安全衛生委員会）	富士聖ヨハネ学園	10名
1月24日～	R3年度業務管理体整備研修	オンライン研修	1名
1月27日～	全国知的障害者支援施設職員研究大会	オンライン研修	5名
2月3日	高齢知的障害者の支援	オンライン研修	3名
3月18日～	デジタル機器導入研修	オンライン研修	1名

※その他学園全体において計43回の研修 延べ外部研修489名、園内研修189名参加
（各課で企画し取り組んで研修は除く）

新型コロナウイルス感染予防からオンライン研修の頻度が増える

Ⅱ 事業所名 : 富士聖ヨハネ学園 診療所

【施設運営状況】

各嘱託医師からの協力を頂き医療的な支援の体制がほぼ構築できている。またこの1年で支援と医療相互の協働も進んできている。

(現況 内科医 T 週1回 精神科医 週1回 精神科医 月1回 消化器内科月1回)

【利用者支援状況】

- ・日々の健康観察等（巡回）により利用者が適切な医療支援を受けることができるように取り組んだ。
- ・健康診断は、年2回実施し、結果を伝えるとともにその後のフォローを行っている。
- ・リハビリテーション委員会及び摂食嚥下カンファレンスを再構築し支援課、食事サービス課等と連携して利用者の支援を行っている。
- ・感染症予防、薬の管理、吸引の対応、応急手当等の研修会を、看護師を講師として実施している。(手洗い研修、ガウンテクニック研修、感染予防のための研修等)
- ・地域の協力を頂きながら早期のワクチン接種に取り組んでいる。(～3月8日3回目終了)
- ・支援課からの利用者の健康管理及び外部受診にかかわる相談に対応している。
- ・利用者の入退院時の医療支援（医療情報の整理、共有）に取り組んでいる。

【施設整備状況】

診療に必要な機器を、医師と相談しながら購入している。

拠点区分名：富士北麓聖ヨハネ支援センター

Ⅲ 事業所名	：富士北麓聖ヨハネ支援センター
サービス区分名	：生活介護事業・就労継続支援B型事業・短期入所事業

【2021年度利用状況報告】

種別	定員	現員 (3月末)	1日平均 利用者数	利用率 (R3年度)	利用率 (R2年度)	利用率 (R1年度)
生活介護	35人	38人	33.4人	95.4%	93.3%	90.0%
就労継続支援 B型	15人	11人	11人	73.3%	62.1%	60.1%
短期入所	3人	—	0.9人	32.9%	32.9%	36.8%

平均年齢 37.3歳（最高 67歳 最低 19歳）

男女比率 26名（男子）：23名（女子）

平均在所期間 3.8年（最長 8年）

年間入所 3名 年間退所 3名

【職 員】

	令和3年4月1日 の職員数			年間退任・就任						令和4年3月31日 の職員数		
	正規職員	非正規職員	合計	正規職員		非正規職員		合計		正規職員	非正規職員	合計
				就任	退任	就任	退任	就任	退任			
管理者	1		1							1		1
サービス 管理責任者	1		1							1		1
生活支援員	8	11	19	2		1	1	3	1	8	12	20
看護師	2	1	3							1	2	3
調理員		1	1							1	1	2
合計	12	13	24	2		1	1	3	1	12	15	27

【施設運営状況】

生活介護の契約者数、利用率共に増えている。就労継続支援B型については、就労系事業所が圏域において飽和状態であるが、年度途中で1名の方が利用開始となった。

懸案であった収支バランスは、3ヶ年計画に沿って順調に改善が図られ、黒字の予定である。

強度行動障害の方、医療的ケアの必要な方まで多様な利用者が通って来ているが大きな事故、感染症発症もなく運営が出来ているが、支援の難しさが出てきているので、職員間での情報共有が必要となる。

就労継続B型では、年度当初はコロナ禍のため煎餅、かわらけの売り上げが減少していたが、事業所間の販売会開催、共同受注窓口との連携、新規受託事業の請負、Facebook開設による販路の拡大等、山梨県は緊急事態宣言・まん延防止措置が出なかったこともあり、観光客が来県され、下半期は売り上げが好調となり、利用者工賃は昨年度並みに支払うことができている。

【利用者支援状況】

(生活介護)

- ・活動内容を多様化し、利用者が多様な活動に参加できるようにした。それにより活動が活性化していった。
- ・理学療法士によるリハビリテーションプログラムの作成を行い、看護師を中心として実践を行った。
- ・強度行動障害の利用者も利用より1年が経ち、安定した生活が送れるようになってきていたが下半期になり、精神的不安から入院となった。これを機にセンターでの利用の方向性・支援の見直しを行い、利用方法を変更することとなった。

(就労B)

- ・各作業の手順の見直しをすることで作業の迅速化、正確化を図っている。

【施設整備状況】

- ・せんべい室の窓にブラインドを設置
- ・腰痛防止のため、マッスルスーツを購入。

【教育研修】 富士北麓支援事業部（富士北麓聖ヨハネ支援センター）

日時	研修名	会場	出席者
11/2、10、12、16	山梨県サービス管理責任者実践研修	県立青少年センター	1名

IV 事業所名 : 河口湖聖ヨハネケアビレッジ
明見聖ヨハネケアビレッジ
富士吉田聖ヨハネケアビレッジ
サービス区分名 : 共同生活援助 (介護サービス包括型)

【2021年度利用状況報告】

種別	定員	現員 (3月末)	1日平均 利用者数	利用率 (R3年度)	利用率 (R2年度)	利用率 (R1年度)
河口湖聖ヨハネ ケアビレッジ	10人	9人	9人	90%	89.2%	89.4%
明見聖ヨハネ ケアビレッジ	7人	6人	6人	85.7%	86.4%	94.5%
富士吉田聖ヨハネ ケアビレッジ	13人	12人	12人	92.3%	76.9%	86.2%

平均年齢 53.3歳 (最高 72歳、最低 18歳)

男女比率 12名 (男性) : 15名 (女性)

平均在所期間 10年 (最長 13年)

年間入所 1名 年間退所 0名

【職 員】

	令和3年4月1日 の職員数			年間退任・就任						令和4年3月31日 の職員数		
	正規職員	非正規職員	合計	正規職員		非正規職員		合計		正規職員	非正規職員	合計
				就任	退任	就任	退任	就任	退任			
生活指導員	1		1							1		1
サービス 管理責任者	2		2							2		2
生活支援員	6	14	20		1				1	6	14	20
合計	9	14	23		1				1	9	14	23

【施設運営状況】

- ・重症心身障害者を対象とした寿ホームを含め、障害支援区分の高い方が多い中で、大きな事故もなく運営することが出来た。
- ・年度途中、健康状況の悪化に伴い、夜勤体制のCVの方が望ましいと判断し、移動した。

【利用者支援状況】

- ・コロナ禍の中、外出等の制限を余儀なくされたことにより利用者が精神的に不安定なり、利用者間のトラブルが多く発生している。しかしながら感染する利用者もおらずに生活することはできている。

【施設整備状況】

- ・特になし

【教育研修】 富士北麓支援事業部（ケアビレッジ）

- ・特になし

V 事業所名 : さぼーとヨハネ
 サービス区分名 : 相談支援事業

【2021 年度利用状況報告】

登録者 250 名

【職 員】

	令和3年4月1日 の職員数			年間退任・就任						令和4年3月31日 の職員数		
	正規職員	非正規職員	合計	正規職員		非正規職員		合計		正規職員	非正規職員	合計
				就任	退任	就任	退任	就任	退任			
管理者	1		1							1		1
相談支援 専門員	3	2	5							3	2	5
合計	4	2	6							4	2	6

【施設運営状況】

- ・山梨県「富士・東部圏域マネージャー」に1名出向
- ・富士北麓障害者基幹相談支援センター「ふじのわ」に1名出向
- ・富士聖ヨハネ学園入所利用者及び富士北麓地域に居住の方の計画相談契約者数が250件に達している。

【利用者支援状況】

- ・施設入所希望、短期入所希望のケースが多くあるが、対象事業所自体が少ないこと、及びコロナ禍により入所の制限があり、対応に苦慮している。
- ・薬物・アルコール依存症者の計画相談を40件作成しており、昨年度より継続して行っている。

【施設整備状況】

- ・なし

【教育研修】 富士北麓支援事業部（相談支援）

日 時	研 修 名	会 場	出席者
11月20日	相談支援ネットワーク研修会	オンライン	2名

拠点区分名：障害福祉部門 小金井

VI 事業所名	: 小金井聖ヨハネ支援センター
サービス区分名	: 生活介護事業・就労移行支援事業・就労継続支援B型事業 就労定着支援事業

【2021年度利用状況報告】

種別	定員	現員 (3月末)	1日平均 利用者数	利用率 (R3年度)	利用率 (R2年度)	利用率 (R1年度)
生活介護	25人	26人	20.9人	83.6%	80.2%	74.5%
就労移行	10人	7人	5.6人	56.0%	66.0%	38.0%
就労継続 B型	25人	23人	20.1人	80.4%	81.8%	77.3%

平均年齢 生活介護 34.7歳 就労移行 29.4歳 就労継続B型 30.7歳
(最高66歳 最低19歳)

男女比率 生活介護 17名(男性):9名(女性) 就労移行 7名(男性):0名(女性)
就労継続B型 13名(男性):10名(女性)

平均在所期間 生活介護 4.2年 就労移行 1.8年 就労継続B型 5.3年 (最長6年)

年間入所 1名 年間退所 4名

【職員】

	令和3年4月1日 の職員数			年間退任・就任						令和4年3月31日 の職員数		
	正規職員	非正規職員	合計	正規職員		非正規職員		合計		正規職員	非正規職員	合計
				就任	退任	就任	退任	就任	退任			
センター長	1		1					1		1		1
サービス 管理責任者	2		2							2		2
生活支援員	12	9	21			1	1	1	1	12	9	21
事務員	2	1	3							2	1	3
栄養士・ 調理員	2	1	2	1				1		2	1	3
医師		1	1								1	1
看護師		1	1								1	1
合計	19	13	22	1	0	1	1	3	1	19	13	22

【施設運営状況】

コロナ禍の2021年度であり、前半ではデルタ株による蔓延防止法に始まった。各自治体や桜町病院ご協力により利用者、職員のワクチン接種が進んだことから12月には一端落ち着いたが、1月にはオミクロン株流行に伴う感染力の強さに一層の感染対策を迫られた事業運営であった。

デルタ株下の緊急事態宣言では利用者の通所自粛も伴っていたが、オミクロン株下においては感染力の強さより重症度の弱さによる世間の見解から、利用者の自粛はやや薄らいだ状況となった。いずれにしても、コロナ禍の運営であり感染対策の徹底を行い、特別支援学校からの実習受け入れや、社会福祉士等養成のための実習受け入れは、自粛せざるを得ない状況であった。

また、新型コロナウイルス感染の長期化に伴う感染対策の困難さと社会における障害者雇用の仕組みの変化等により、ワークセンター開所当初より行ってきた桜町病院の洗浄等の請負業務を終了した。

【利用者支援状況】

生活介護では、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症予防に留意しながら試行錯誤し利用者の楽しめるような室内活動の拡充に努めた。個別の作業面では散歩や配食作業といった屋外作業を活用し作業室内に居る利用者と屋外で活動する利用者を分散させ密を避け活動に取り組んだ。コロナ禍で中々外出も難しく、利用者の生活も制限されがちになってしまいう中、夏祭りやハロウィン等の屋内で楽しめるイベントを拡充させ利用者が楽しみ発散できるよう工夫した。

就労移行支援では、一般企業に1名就職することができた。これまで行ってきた桜町病院での職場実習による職業訓練から、事業所内でのビジネスマナー等を習得し一般就労に繋げるカリキュラムを構築した。また、一般企業での就労が長期的に定着できるよう、職場訪問や面談等を定期的に行った。本年度は2名の方に定着支援を行い、企業側と就労者側の間に立ち本人への支援を行うことで、安定した就労が行えている。

就労継続B型では2020年から行っているパン販売は安定して継続販売が行えており、春以降は販売日をもう一日増やし、地域の皆様に対し種類の違うパンを楽しんでいただいている。コロナ禍ではあったが今できる事を模索し、楽しく、やり甲斐のある作業を提供し個人の成長、作業の技術の向上を目標に職員が一丸となり取り組んだ。

《作業種類》パン販売は支援センターとワークセンターの2カ所で販売。【火・木 販売日】

- 洗浄業務：高齢者住宅サービスセンター食器洗浄、桜町病院栄養課食器洗浄
- 屋外清掃業務：法人本部内トイレ清掃、小金井市委託（公園・砂場・公園トイレ）清掃業務、地域不動産業者委託（アパート清掃、敷地内除草作業）、一般宅除草作業
- 室内作業：パン製造・販売・配送、小金井市委託（リサイクル袋作り）、一般業者委託（ネジ組立て、封入、チラシ折り込み内職）、刺しゅう小物作り
- その他作業：清瀬GH配食

【施設整備状況】

- ・ 棚、昇降式棚、機器修繕、業務用コードレス掃除機、ノートパソコン、車両

Ⅶ 事業所名 : 小金井聖ヨハネワークセンター
サービス区分名 : 就労継続支援B型事業

【2021 年度利用状況報告】

種別	定員	現員 (3月末)	1日平均 利用者数	利用率 (R3年度)	利用率 (R2年度)	利用率 (R1年度)
就労継続B型	20人	19人	17.3人	86.7%	88.3%	77.1%

平均年齢 44.8歳 (最高79歳 最低28歳)

男女比率 13名(男性) : 6名(女性)

平均在所期間 5.8年 (最長9年)

年間入所 0名 年間退所 2名

【職 員】

	令和3年4月1日 の職員数			年間退任・就任						令和4年3月31日 の職員数		
	正規職員	非正規職員	合計	正規職員		非正規職員		合計		正規職員	非正規職員	合計
				就任	退任	就任	退任	就任	退任			
管理者	1		1							1		1
サービス 管理責任者	1		1							1		1
生活支援員	2	3	5	1	2		1			1	2	3
調理員		2	2								2	2
合計	4	5	9	1	2		1			3	4	7

【施設運営状況】

2021年度は、新規受け入れはなく、2名の利用者が退所、定員20名に対し現員19名となった。今後は定員増にも力を入れ、継続して地域との連携を強化し、新規利用者獲得に向け力を入れていきたい。利用率については、通所及び在宅利用等、利用者にあったサービス・支援を丁寧に提供したことで利用率の安定に繋がった。

利用者の仕事確保は、受注仕事の開拓など営業にも積極的に取り組み、取引先の確保や受注枠の拡大を行った。毎週木曜日には小金井聖ヨハネ支援センターで製造したパンの販売を行い、地域の方々との交流に繋がった。今後は更なる拡大を図り、多様な活動を通し利用者の仕事をより充実したものにし、工賃アップにつなげていきたい。

また、利用者意思決定支援、虐待防止、権利擁護、緊急時支援、事業継続計画などマニュアルの改正整備に取り組み支援力の強化と利用者支援に活かしていく。

【利用者支援状況】

- ・市内短時間アルバイト 読売センター小金井販売所
- ・内職業者より業務請負(株式会社エアージェイ)
- ・有限会社石井ホームサービス(不動産業)よりアパート清掃、草刈り作業請負
- ・小金井市内にある真明寺、貫井保育園と清掃契約を結び継続中

- ・小金井市就労支援センターから依頼のあった東図書館壁面装飾の仕事を受け工賃に反映
- ・ワークセンターにて制作した日用雑貨品や作品の販売会（小金井市障害者週間イベント、市民活動まつり、ホステル小金井イベント、一般社団法人マジエルカ主催イベント等）に多数参加し、利用者の地域参加、作業収入増に繋がった。
- ・市内青果店から、制作している日用雑貨品の継続した注文があり、利用者の仕事と収入の安定に繋がっている。
- ・利用者就労支援は実績0名だが、相談、連絡調整、職場訪問、アフターケアは継続して行った。

【施設整備状況】

なし

Ⅷ 事業所名	: 小金井聖ヨハネケアビレッジ（7ユニット）
サービス区分名	: 共同生活援助事業（介護サービス包括型）

【2021年度利用状況報告】

種別	定員	現員 (3月末)	1日平均 利用者数	利用率 (R3年度)	利用率 (R2年度)	利用率 (R1年度)
本町1	7人	7人	7人	100%	100%	100%
本町2	7人	7人	7人	100%	100%	100%
本町3	4人	4人	4人	100%	75%	—
貫井北町	2人	2人	2人	100%	100%	100%
梶野町	7人	7人	7人	100%	100%	100%

平均年齢 52歳（最高 79歳、最低 28歳）

男女比率 19名（男性）： 8名（女性）

平均在所期間 11.5年（最長 18年）

年間入所 0名 年間退所 0名

【職 員】

	令和3年4月1日 の職員数			年間退任・就任						令和4年3月31日 の職員数		
	正規職員	非正規職員	合計	正規職員		非正規職員		合計		正規職員	非正規職員	合計
				就任	退任	就任	退任	就任	退任			
管理者	1		1							1		1
サービス 管理責任者	1		1							1		1
世話人 生活支援員	7	29	36			5	14	5	14	7	20	27
合計	9	29	38			5	14	5	14	9	20	29

【施設運営状況】

小金井聖ヨハネケアビレッジ本町1・2、本町3、貫井北町、梶野町の各ユニットは定員を満たしての安定した運営がなされた。入居者の移動によりメンバーの変わったグループホームもあったが、環境の変化にも順応し自分の居場所として確立している様子が感じられる。

職員に関しては一部異動職員があったが、大きな変化なく対応ができていた。今年度、第三者評価の実施とフィードバックをしており、職員は各々支援の質の向上に繋げている。

【利用者支援状況】

今年度も引き続きコロナ禍での生活となった為、外出やヘルパー利用は自粛をしてきたが、近隣への買い物や散歩などで気分転換を図った。日中活動へはそれぞれ通所し、緊急事態宣言や蔓延防止措置解除に伴い感染症対策をしながら少しずつイベントなども出来るようになっていた。矢先、梶野町CV利用者1名・本町3利用者1名が同日に発熱。PCR検査の結果翌日陽性となる。梶野町利用者はグループホームで7日間の療養生活・本町3の利用者は宿泊施設（ホテル）での対応となるが、状態が悪化し途中から入院する事になった。2人とも大きな後遺症は無い。コロナ以外では通院対応が増えてきており、救急対応もあった。今後も利用者一人一人の健康状態の把握に努め、安心・安全に暮らせるように支援してゆく。

【施設整備状況】

- ・梶野町3階ベランダより居室に雨水が流れ込む事が頻発。修理を行う。
- ・本町2の2階給湯器の修理。
- ・本町の車、ワゴンRのリース終了・セレナ故障により軽自動車モコとセレナを購入。

IX 事業所名 : 緑町聖ヨハネケアビレッジ (2ユニット)
サービス区分名 : 共同生活援助事業 (日中サービス支援型)

【2021 年度利用状況報告】

種別	定員	現員 (3月末)	1日平均 利用者数	利用率 (R3年度)	利用率 (R2年度)	利用率 (R1年度)
緑町1	9人	9人	9人	100%	88.8%	—
緑町2	9人	9人	9人	100%	77.7%	—

平均年齢 55歳 (最高 67歳、最低 27歳)

男女比率 9名 (男性) : 9名 (女性)

平均在所期間 1年 (最長 1年)

年間入所 2名 年間退所 0名

【職 員】

	令和3年4月1日 の職員数			年間退任・就任						令和4年3月31日 の職員数		
	正規職員	非正規職員	合計	正規職員		非正規職員		合計		正規職員	非正規職員	合計
				就任	退任	就任	退任	就任	退任			
管理者	1									1		1
サービス 管理責任者	1									1		1
世話人 生活支援員	6	5	13			5	2	5	2	6	8	14
合計	8	5	13			5	2	2	2	8	8	16

【施設運営状況】

開所より入居者の変更はなく、4月からは男性9名・女性9名の定員が揃っての運営。学園からの利用者とグループホームからの利用者及び在宅からの利用者の集まりで日々色々な事が起こる中の対応であった。職員は開所から女性職員2名の退職があり、職員採用を行った。コロナ禍で感染症対策を重点的に行っている。

【利用者支援状況】

新しい利用者と新しい職員で手探りでの生活が始まり、先ずはお互いを知る事で信頼関係の構築を目標とした。職員の支援力を向上させるために研修等にも参加してもらったが、日々起こる状況に翻弄されていたように思う。環境には少しずつ慣れてきているものの、仕事へ行けない利用者もおり精神的なケアが必要なケースもある。また、職員や利用者に手を挙げてしまったり行動が止められない利用者など、難しいケースも抱えており支援に苦慮する場面も多々ある。今後の引き続き課題である。

【施設整備状況】

- ・普通乗用車ノア購入
- ・エアコン不具合による調整

- ・風呂場の水はけが悪く、改修
- ・玄関ドア、他室内の扉の調整

X 事業所名 : 小金井聖ヨハネ短期入所
サービス区分名 : 短期入所事業

【2021 年度利用状況報告】

種別	定員	現員 (3月末)	1日平均 利用者数	利用率 (R3年度)	利用率 (R2年度)	利用率 (R1年度)
短期入所	4人	—	1.1人	28.8%	57.5%	81.4%

今年度も引き続きコロナ禍で一部制限をしておの受け入れ対応となった。緊急事態宣言と蔓延防止措置期間中の新規の面談・契約は自粛とし、契約中の利用者のみのお受け入れにとどめた。前年度、短期入所利用していた利用者が複数緑町ケアビレッジへ入居した事で利用者数が減った事もあり利用者の希望に沿ったお部屋の提供ができた。感染症対策に配慮しながら短期入所事業を行っている。現在、新規利用者の面談・契約などもおこなっている。今後も特に地元小金井の利用者の方々に幅広く利用していただけるように努めたい。引き続き、緊急ケースには迅速な対応をしてゆく。

X I 事業所名 : 緑町聖ヨハネ短期入所
サービス区分名 : 短期入所事業

【2021 年度利用状況報告】

種別	定員	現員 (3月末)	1日平均 利用者数	利用率 (R3年度)	利用率 (R2年度)	利用率 (R1年度)
短期入所	2人	—	0.3人	14.7%	0.0%	—

今年度は杉並区より虐待ケースの緊急受け入れ依頼があり、12月より措置で対応している。現在も対応継続中。3月には女性利用者の受け入れを行った。感染症対策に配慮しながら短期入所事業を行っている。短期入所受け入れは男性・女性1床。今後も特に緊急ケースはもちろんだが地元小金井の方にも利用していただけるようにしたい。

X II 事業所名 : ふらっとヨハネ
サービス区分名 : 相談支援事業

【2021 年度利用状況報告】

登録者 152名

【施設運営状況】

2021年度の「聖ヨハネ会 障害福祉部門東京事業所」の小金井地区と清瀬地区の各事業所を利用されている方を中心に「サービス等利用計画」の作成とモニタリングを実施した。今年度も専

従の相談員1名で毎月の様子伺い（モニタリング）をして報告書を作成した。

「コロナ禍」の状態は続いているので出来るだけ対面での面談は控えて本人と支援員・相談員の三者で行い、家族（保護者）には電話や手紙での連絡と確認をしてモニタリングを行った。

またオンラインでの面談が出来る事業所にはZOOMでのモニタリング会議を行ったが「限られた時間内で内容が濃く、締まった話し合いが出来た」と保護者には好評であった。今後もこうした機会は増えてくると思われるのでスムーズに対応していきたい。

【利用者支援状況】

2014年に「ふらっとヨハネ」が発足して以来たくさんの利用者の「サービス等利用計画」を作成してきたが現在の福祉サービスの支援では対応できづらい状態も見られてきた。

利用者の「出来る事」そして「出来ない事」をしっかりと見極めていく時期に来ていると思う。「出来ない事」を支援していればいつかできるだろうと期待して何年も経っていても結局は利用者が「苦手としている部分」なので「支援がないと出来ない」という事が現実としてあった。「出来ない事」＝「苦手な事」と認識してその部分をしっかりと支援が入る体制にするとその方の生活が一変するという事が分かってきた。今後もその人の求めていることの見極めがとても重要だという事を意識して利用計画を立てて行きたい。

【施設整備状況】

今年度も「計画相談・ほのぼのmoreシステム」による相談支援利用者全員の「サービス等利用計画の作成」と個人情報を一元化して今後の相談支援に備えている。

教育研修 小金井支援事業部

2021/4/1～4/7	障害福祉部門東京事業所採用時職員研修	小金井聖ヨハネ支援センター及び各事業所	3名
2021/4/12～4/13	障害福祉部門東京事業所採用時職員研修	小金井聖ヨハネ支援センター及び各事業所	1名
2021/6/7～6/9	障害福祉部門東京事業所採用時職員研修	小金井聖ヨハネ支援センター及び各事業所	1名
2021/6/7～7/21	令和3年度 第1回はじめて社会福祉を学ぶ福祉職員のためのスタートアップ研修	収録型WEB研修	7名
2021/6/11	令和2年度および令和3年度新任職員向け研修	オンライン開催（zoomミーティング）	2名
2021/6/16	強度行動障害支援 公開基礎講座	オンライン開催（zoomミーティング）	1名
2021/6/16～9/16	令和3年度東京都相談支援従事者現任研修	講義：オンライン 演習：対面	1名
2021/6/17	令和3年度第1回虐待防止・権利擁護	オンライン開催（zoomミーティング）講義とGW	1名
2021/6/18	全体研修 感染症	オンライン開催（zoomミーティング）対面とオンライン	
2021/6/21	フシリテーション研修	収録型WEB研修	3名
2021/7/3	「利用者さんが飲んでいる薬をしろう！ -精神・神経に作用する薬を学ぶ-	オンライン開催（zoomミーティング）	4名
2021/7/7	家族とのコミュニケーション	オンライン開催（zoomミーティング）	4名
2021/7/20～7/21	障害福祉部門東京事業所採用時職員研修	小金井聖ヨハネ支援センター及び各事業所	1名
2021/7/20～8/6 (第1期)	強度行動障害支援者養成研修 基礎研修	収録型WEB研修	1名
2021/7/26～8/13	サービス管理責任者 基礎研修 7月下旬オンライン、9月下旬演習	収録型WEB研修	1名
2021/7/29～8/22	2021年度 第6回ダウン症支援セミナー	収録型WEB研修 1部・2部・3部	2名

2021/8/2～9/14	障害者虐待防止・権利擁護研修 (障害者福祉施設等職員コース)	収録型WEB研修	2名
2021/8/16～9/27	研修委員による職員研修の事前研修 日本知的障害者福祉協会研修	収録型WEB研修	4名
2021/8/20	第32回 令和3年度 全国グループホーム等研修会	オンライン開催 (zoom ミーティング)	1名
2021/8/27	給付費請求業務の基礎知識・情報交換会	オンライン開催 (zoom ミーティング)	1名
2021/9/2～9/17 (第2期)	強度行動障害支援者養成研修	収録型WEB研修	1名
2021/9/9	2021年度 東京語 障害者支援施設等の 新型コロナウイルス感染防止対策研修	オンライン開催 (zoom ミーティング)	1名
2021/9/10	(1) コロナ禍における就労支援 (2) 事業所におけるコロナ感染者発生時の 対応	ZOOM ウェビナー	3名
2021/9/24	私が感じる福祉への思い ～これまでの福祉、これからの福祉～	オンライン開催 (zoom ミーティング)	1名
2021/10/1～10/21	令和3年度 障害者グループホーム従事者 基礎研修	オンライン開催 (zoom ミーティング)	2名
2021/10/15	小金井市まなびあい講座 「生活保護のしくみ」	戸塚ホール 2F	(98名)
2021/10/30	第一部 とっさの対応を学ぼう 第二部 現場でできる初期対応を考える	オンライン開催 (zoom ミーティング)	1名
2021/11/6～11/23	令和3年度 第2回 J C-N E Tジョブコーチ (職場適応援助者) 養成研修	大妻女子大学千代田キャンパス	1名
2021/11/8	ZOOMを使ったオンライン研修・会議のやり方	オンライン開催 (zoom ミーティング)	2名
2021/12/10～2022/3/10	令和3年度 東京都サービス管理責任者及び 児童発達支援管理責任者研修 実践研修	オンライン開催 (zoom ミーティング)	1名
2021/12/14	令和3年度 第3回オンライン 虐待防止・権利擁護研修	オンライン開催 (zoom ミーティング)	2名
2021/12/16	令和3年度障害者グループホーム従事者 人材育成支援事業 (管理者研修)	国立オリンピック記念青少年総合センター	1名
2021/12/16	強度行動障害支援アドバンス研修	オンライン開催 (zoom ミーティング)	1名
2021/12/17	強度行動障害メディカルセミナー	オンライン開催 (zoom ミーティング)	1名
2022/1/11～2/15	令和3年度 東京都サービス管理責任者及び 児童発達支援管理責任者研修 更新研修	オンライン開催 (zoom ミーティング)	1名
2022/1/13～1/14	福祉職員キャリアパス対応障害研修 令和3年度 初任者研修 B既卒者コース	収録型WEB研修	1名
2022/1/29	私たちの仕事を語ろう！ ～多職種協働チームの一員として～	オンライン開催 (zoom ミーティング)	1名
2022/2/25	令和2年度および令和3年度新任職員向け研修 フォローアップ研修	オンライン開催 (zoom ミーティング)	2名
2022/3/4	人間関係におけるストレスマネジメント	オンライン開催 (zoom ミーティング)	1名

拠点区分名：障害福祉部門 清瀬

XⅢ 事業所名	: 清瀬聖ヨハネ支援センター
サービス区分名	: 生活介護事業

【2021年度利用状況報告】

種別	定員	現員 (3月末)	1日平均 利用者数	利用率 (R3年度)	利用率 (R2年度)	利用率 (R1年度)
生活介護	20人	24人	21.0人	104%	104%	96.0%

平均年齢 45歳（最高 68歳 最低 20歳）

男女比率 13名（男子）：11名（女子）

平均在所期間 7年（最長 8.6年）

年間入所 1名 年間退所 0名

【職員】

	令和3年4月1日 の職員数			年間退任・就任						令和4年3月31日 の職員数		
	正規職員	非正規職員	合計	正規職員		非正規職員		合計		正規職員	非正規職員	合計
				就任	退任	就任	退任	就任	退任			
管理者	1		1							1		1
サービス 管理責任者	1		1							1		1
生活支援員	1	7	8			1	1	1	1	1	7	8
調理員		1	1								1	1
医師		1	1								1	1
看護師		2	2								2	2
合計	3	11	14							3	11	14

【施設運営状況】

2021年度は、入所者数23名と定員を超えていることもあり新規利用者は受け入れていない。利用率も100%を超え、施設規模からもこれ以上の受け入れは困難な状況にある。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業所内での感染症に関する研修実施や消毒等環境衛生等に努めたことなどで感染者等の発生はなかったが、法人内グループホームのクラスターにより、年度末に2週間程度通所される利用者が減少した。

【利用者支援状況】

2020年度は新型コロナウイルスの影響により外部機関が実施する行事等がほぼなくなったが、2021年度になり、工夫を凝らした催し物が増えてきた。特に池袋サンシャインシティの店舗で行った作品展や、23区内の信用金庫等に作品展示されるなど、関係者のご協力により作品を広める機会が増えた。センターの活動は、緊急事態宣言やまん延防止等措置の合間を見ながら、少しずつ

つ活動範囲を広げていった。利用者も概ね毎日通所された。基本的な活動のはがき作りと創作活動は継続しているため、事業所内活動には大きな変化はなかった。

【施設整備状況】

椅子の購入

XIV 事業所名	: 清瀬聖ヨハネケアビレッジ (4ユニット)
サービス区分名	: 共同生活援助事業 (介護サービス包括型)

【2021年度利用状況報告】

種別	定員	現員 (3月末)	1日平均 利用者数	利用率 (R3年度)	利用率 (R2年度)	利用率 (R1年度)
下清戸1	7人	7人	7人	100%	100%	100%
下清戸2	7人	7人	7人	100%	100%	100%
中清戸1	7人	7人	7人	100%	100%	100%
中清戸2	7人	7人	7人	100%	100%	100%

平均年齢 49歳 (最高 68歳、最低 24歳)

男女比率 14 (男性) : 14名 (女性)

平均在所期間 9.7年 (最長 16年)

年間入所 0名 年間退所 0名

【職 員】

	令和3年4月1日 の職員数			年間退任・就任						令和4年3月31日 の職員数		
	正規職員	非正規職員	合計	正規職員		非正規職員		合計		正規職員	非正規職員	合計
				就任	退任	就任	退任	就任	退任			
管理者	1		1							1		1
サービス 管理責任者	1		1							1		1
世話人 生活支援員	7	23	30	1		3	8	4	8	8	18	26
合計	9	23	32	2	3	4	4	6	7	10	18	28

【施設運営状況】

利用者の入退去なく、中清戸・下清戸ともに定員を満たしての安定した運営がなされた。

清瀬は慢性的に職員の欠員状態が続き、厳しい中での勤務であり求人は常時行ってきた。

コロナ禍での感染症対策を重点的に行ってきたが、1月に利用者4名が新型コロナウイルス陽性となる。利用者・職員共に大変な状況での運営となったが、桜町病院との連携ができ、院長・感染症担当看護師の協力やアドバイスにより迅速な対応が行われた。

【利用者支援状況】

今年度もコロナ禍での生活となり、感染症対策をしながら安全に暮らせるよう努めてきたが1月に発熱者からPCR検査で陽性者が出てしまう。1名→2名→1名と3日おきに陽性者が増え合計4名の対応を余儀なくされた。3名は入院対応ができたが、うち1名は陽性のまま退院となる。2名の職員が泊まり込みで対応したが、1名が陽性となる。その他、骨折や打撲などの怪我などもあり、利用者の介護度も高くなっている。生活の幅を広げることはできなかったが、良くも悪くもコロナ禍での生活に慣れてきた面はある。利用者の要望を叶えられるよう、支援の充実を図ってゆきたい。

【施設整備状況】

- ・下清戸乾燥機故障により購入
- ・下清戸桜の木剪定

X V 事業所名	: 清瀬聖ヨハネ短期入所
サービス区分名	: 短期入所事業

【2021年度利用状況報告】

種別	定員	現員 (3月末)	1日平均 利用者数	利用率 (R3年度)	利用率 (R2年度)	利用率 (R1年度)
短期入所	2人	—	0.2人	10.1%	10.1%	41%

今年度も引き続きコロナ禍で一部制限をしておいた対応となった。緊急事態宣言と蔓延防止措置期間中の新規の面談・契約は自粛とし、契約中の利用者への受け入れにとどめた。感染症対策に配慮しながら短期入所事業を行っている。緊急ケースが入らなかった事もあり、週末の男性利用者の受け入れのみで女性利用者の受け入れはなかった。今後、地元清瀬の利用者の方に幅広く利用していただけるように努めたい。

教育研修 清瀬支援事業部

2021/4/1～4/7	障害福祉部門東京事業所採用時職員研修	小金井聖ヨハネ支援センター及び各事業所	2名
2021/4/16	事故防止・危険予知(KYT)トレーニング	オンライン開催(zoomミーティング)	1名
2021/6/7～6/9	障害福祉部門東京事業所採用時職員研修	小金井聖ヨハネ支援センター及び各事業所	1名
2021/6/7～7/21	福祉職員のためのスタートアップ研修	収録型WEB研修	1名
2021/6/16～9/16	令和3年度東京都相談支援従事者現任研修	オンライン開催(zoomミーティング)	1名
2021/6/16	強度行動障害支援 公開基礎講座	オンライン開催(zoomミーティング)	1名
2021/6/16～9/16	令和3年度東京都相談支援従事者現任研修	講義: オンライン 演習: 対面	1名
2021/6/17	令和3年度第1回虐待防止・権利擁護	オンライン開催(zoomミーティング) 講義とGW	1名
2021/6/18	全体研修 感染症	オンライン開催(zoomミーティング) 対面とオンライン	(102名)
2021/6/21	ファシリテーション研修	収録型WEB研修	1名

2021/7/3	「利用者さんが飲んでる薬をしよう！ -精神・神経に作用する薬を学ぶ-	オンライン開催 (zoom ミーティング)	2名
2021/7/7	家族とのコミュニケーション	オンライン開催 (zoom ミーティング)	2名
2021/7/29～8/22	2021年度 第6回ダウン症支援セミナー	収録型WEB研修 1部・2部・3部	1名
2021/8/2～9/14	障害者虐待防止・権利擁護研修 (障害者福祉施設等職員コース)	収録型WEB研修	1名
2021/8/2～8/4	障害福祉部門東京事業所採用時職員研修	小金井聖ヨハネ支援センター 及び各事業所	2名
2021/8/16～9/27	研修委員による職員研修の事前研修 日本知的障害者福祉協会研修	収録型WEB研修	2名
2021/8/20	行動障害の支援について (意思決定支援も含む)	オンライン開催 (zoom ミーティング)	2名
2021/9/2～9/17 (第2期)	強度行動障害支援者養成研修	収録型WEB研修	1名
2021/9/9	2021年度 東京語 障害者支援施設等の 新型コロナウイルス感染防止対策研修	オンライン開催 (zoom ミーティング)	1名
2021/9/24	私を感じる福祉への思い ～これまでの福祉、これからの福祉～	オンライン開催 (zoom ミーティング)	1名
2021/10/1 ～10/21	令和3年度 障害者グループホーム従事者 基礎研修	オンライン開催 (zoom ミーティング)	1名
2021/10/15	小金井市まなびあい講座 「生活保護のしくみ」	戸塚ホール 2F	(98名)
2021/10/27	令和3年度地域公益活動を考えるオンライン 実践発表会	オンライン開催 (zoom ミーティング)	1名
2021/10/30	第一部 とっさの対応を学ぼう 第二部 現場でできる初期対応を考える	オンライン開催 (zoom ミーティング)	1名
2021/11/6	重症心身障害児者の支援の基本と実践 重症心身障害児者の食事 ～一人ひとりに合った食事形態と介助～	オンライン開催 (zoom ミーティング)	1名
2021/11/10	意思決定支援と権利擁護	振興会セミナールーム	1名
2021/11/12	意思決定支援を現場に活かす	オンライン開催 (zoom ミーティング)	1名
2021/12/14	令和3年度 第3回オンライン 虐待防止・権利擁護研修	オンライン開催 (zoom ミーティング)	2名
2021/12/15～1/19 (第3期)	強度行動障害支援者養成研修基礎研修	収録型WEB研修	1名
2022/2/8	令和3年度障害者芸術支援研修 権利保護に関するセミナー	オンライン開催 (zoom ミーティング)	1名

2. 高齢福祉部門

【事業概況】

部門の状況については、昨年度末から今年度上期にかけての人事等に関する問題、桜町聖ヨハネホーム園長の交代、大規模改修から建て替えへの再検討等々大きな動きがあった。体制立て直しを図るべく8月には職員へ理事長名でメッセージを出し、現行の部・課の機能確認、役職者不在のポジションが多いことの検討、若手育成の仕組みといった組織体制の見直し、またステップアップの機会としてのローテーション配置、所属部署が掲げる目標に対する取り組み状況の確認と取り組み結果に対する評価を実施していくことを伝えた。さらに部門として3つの大きな方針を立てることとした。①桜町聖ヨハネホームの運営立て直し②在宅サービスセンター事業の選択と集中③桜町聖ヨハネホームの建て替え等に関する実行、という3つである。

①については、組織に空白役職があることや人事問題等を解消して運営を正常化すること、事務管理部の体制を検討していくこと、②についてはこれまでオールインワンの先駆者として多くの事業に取り組んできたことを外部環境などを勘案しながら当法人で実施することと他施設等へおまかせすることを総合的に検討すること、また桜町と本町にあるセンターの在り方を今後検討すること、③は桜町聖ヨハネホームの建て替えや近い将来改築が必要と思われる桜町高齢者在宅サービスセンターの今後やその他建物の在り方の検討桜町病院別館の検討、こういったミッションを実行していくことが理事会で決定された。そして③については改築準備室のようなものを設置して専らこのことに充たることが望ましいとアドバイスがあり、企画室を部門内に設置することとした。利用者・ご家族・職員の意見をまとめてどういうコンセプトでこういった建物にしていくのか、さらに建築業者とのやりとり、行政との協議、そして今回であれば桜町高齢者在宅サービスセンターや病院別館のことをどうするかということが入ってくるとするならば、そのような部署を設置しプロジェクト化することがいいのではということからである。

この3つの方針を進めるにあたって、まずは現状の組織機能を確認し、施設サービス部と在宅サービス部については内部機能の整理をし、栄養部は部を廃止し前述のサービス部の機能へ組み入れることとし、事務管理部も部は廃止し法人本部が関わりながら統括していく体制とした。そして企画室を新たに設置した。さらに人材に関することが長年の懸案事項となっていたことから、法人本部に募集・採用・育成・評価等に関する担当者を置き、欠員補充や新規採用、個々の職員の業務内容の確認と面談等を始めた。

部門の屋台骨となる組織体制の立て直しについては、かなりの時間を要することと思うが、職員各位の協力を得ながら今年度はここまでの取り組みを実行することができた。次年度以降も継続して取り組む所存である。

新型コロナウイルスについては感染拡大防止への対応に努めながら、利用者・職員の健康に配慮し、可能な範囲での事業活動を継続実施している。事業所においては、行政指導に合わせて面会及び来所制限、利用者の外出自粛等々、感染者を出さないための工夫と努力を行った。数回にわたり感染者が発生したが、桜町病院からの対応支援などを受けて幸いにも大きなことになることなく留まった。引き続き最善の注意を払っていきたい。

I 桜町聖ヨハネホーム

(指定介護老人福祉施設・短期入所生活介護)

【2021年度 利用状況報告】

種 別	定 員	1日平均 利用者数	利用率 (2021年度)	利用率 (2020年度)	利用率 (2019年度)
介護老人福祉施設	106名	98.9名	93.32%	91.3%	94.1%
短期入所生活介護	8名	5.7名	70.90%	62.6%	88.6%

平均年齢 88.52歳 (最高105歳、最低62歳)

男女比率 17:84 (2022年3月31日現在:101名 内入院9名)

平均在所期間 3年9ヶ月 (最長21年11ヶ月)

年間入所 23名 (2020年度入所:33名・2019年度入所:17名・2018年度入所:24名)

年間退所 26名 (2020年度入所:33名・2019年度退所:15名・2018年度退所:26名)

【職 員】

	2021年3月31日 の職員数			年間退任・就任						2022年3月31日 の職員数		
	正職員	非常勤職員	合計	正職員		非常勤職員		合計		正職員	非常勤職員	合計
				就任	退任	就任	退任	就任	退任			
施設長	1	0	1	1	1	0	0	1	1	1	0	1
医 師	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	3	3
生活相談員	2	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	2
介護支援専門員	(3)	0	(3)	0	(1)	0	0	0	(1)	(2)	0	(2)
介護職員	32 (3)	15	47 (3)	11	11	2	3	13	14	32 (2)	14	46 (2)
看護職員	4	4	8	5	4	0	2	5	6	5	2	7
機能訓練指導員等	1	2	3	0	0	0	0	0	0	1	2	3
管理栄養士	1	1	2	0	1	0	0	0	1	0	1	1
調理員	5	7	12	0	0	0	2	0	2	5	5	10
事務職員	3	0	3	0	0	0	0	0	0	3	0	3
生活サポート	0	12	12	0	0	0	0	0	0	0	12	12
用務員	0	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0
合 計	49 (3)	45	94 (3)	17	17	2	8	19	25	49 (2)	39	88 (2)

※上記表には管理宿直員含まず

※派遣職員 2022年3月31日現在 1名

【施設運営状況】

1. 財務状況について

(単位：千円)

	2021年度	2020年度	2019年度	2018年度	2017年度
当期資金収支差額	10,287	▲14,351	82,462	▲1,223	▲20,421
当期事業収支差額	▲1,513	▲28,559	▲31,022	▲54,565	▲50,371
人件費率	74.7%	80.4%	80.4%	83.7%	81.3%
修繕費	5,908	3,552	2,161	5,583	3,751
減価償却費	28,435	27,184	25,380	25,439	25,189

2021年度は資金収支会計で約10,287千円の黒字だが、事業活動収支会計は約1,513千円の赤字決算となった。経営においては入院以外の空床期間を無くし、法人内施設の病院との連携を取り、資金を法人内で循環させる様取り組むことや、削減できる費用については段階的に削減した。

支出増の主な要因としては退職者多数の補充を、人材紹介機関経由で採用する事が多く、その紹介料の支出によるものである。

本来100床規模の特養が赤字という事は、収支バランスが著しく欠けているという事が明らかで有り、当ホームの場合はそれが人件費率に有る訳だが、人員基準を大幅に上回る人員が配置されていても、過去と比較し人員が少なければ職員不足という思考を抱く風土が有り、適正人員で経営出来る体制を一日でも早く構築することが、早急に取り組むべき課題である。

また、2021年度は新型コロナウイルス感染が施設内で3度遭った事で、特養の新規入所受け入れの停止、短期入所も受入停止という期間が、延べ1カ月強有った事も収益減の影響と言える。

具体的には2021年度の平均利用人員は98.95人と2020年度の96.7人よりは微増。入院は法人内施設の桜町病院への入院が殆どで、入院による空床は年間1,479床。これは短期入所事業で空床利用を促進した。結果、短期入所生活介護の稼働率は年間平均71%であった。

問題はご逝去等による退所後の空床である。特に今年度最初のコロナ発症の10月はそのダメージも大きく、退所後の月間延べ空床は、今年度最多の142床(年間1,092床)を記録した。

【施設目標】 人生の完成に向かって歩まれている利用者様に『大切にされていると思われるケアを
実践する。』

1. 穏やかな生活を継続支援できるよう、安定した財務・運営を進める。

新型コロナウイルス感染症防止対策の中、厳しい財務状況は変わらず続いている。前述の通り今後も更なる利用向上に取り組む必要があるのは変わりなく、入院以外の空床は限りなくゼロに近づける。

また、入院期間中は空床利用ショートステイ利用率を高める。介護報酬については可能な加算を取得し、収入を増やす事。最重要課題は支出内容の見直しを行い、収支バランスを適正にする必要がある。

2. 的確な支援ができる様、職員一人一人が責任感と誇りを持ち自分の役割を果たす。

感染症対策については、前年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策に終始する一年であった。手指消毒、マスクの着用、出勤時は日々2回以上の検温と記録、不要な外出の自粛など、職員へ感染防止策の徹底を呼びかけたが、今年度2・3回目の発症は職員であった。

予防接種も接種可能となれば速やかに受けてもらうよう職員に促したが、副反応の影響で公休

日を考えながらの接種となった。しかし感染予防効果のとして、その他の感染症（ノロウイルスやインフルエンザ等）については発症しなかった。

また、サービスについては感染対策期間でもあり、ボランティアさん参加型の行事を行うことができなかつた為、小規模だが、職員が余興を行いご利用者様に楽しんで頂いた。

利用者懇談会では、全体での開催と少人数制での開催を隔月で月1回開催。ホームからのお知らせ等をお伝えし、要望なども伺うが、特に、少人数制の開催では、大勢のご利用者の前では言い辛い細かな要望を言って頂けるなどの機会を持たた。

3. 安心して生活して頂ける様、各係が連携し、コミュニケーションを円滑にしながら組織性を高める。

業務多忙という中で、特に介護係についてはコミュニケーションが少ないことが顕在化しており、園長・相談員を加えた大規模ミーティングを行った。この中で、職員の介護に対する思いや、ヨハネホームに対する問題点・改善策等についても議論することが出来た。

4. 地域ニーズに応えられるよう、開かれた施設であり続ける。

コロナ感染症が終息した場合は、介護福祉士養成校などの実習受入や近隣保育園との交流したい思いは強かったものの、今年度も受け入れることができなかつた。

因みに2019年度までは、生活援助やサークル活動等に、年間活動合計延べ人数約2,900名の方々が来られていた。これら外部の関りが無いという点もマンパワーの点で影響が大きかった。特にご家族に対し、行事や食事の様子などを掲載し、ホーム内の様子が少しでも伝わるように努めた。

【特記事項】

〔Ⅰ〕新型コロナウイルス感染状況

新型コロナウイルス感染等、2022年度は以下の罹患状況であった。

- | | |
|--------------------|----------------------------------|
| ① 9/21-10/ 6(17日間) | } ……延べ約39日間の特養新規入所・短期入所受入停止となった。 |
| ② 1/24- 2/ 2(10日間) | |
| ③ 3/11- 3/22(12日間) | |

①はショートステイ利用者から、ワクチン未接種者の特養利用者が感染。保健所介入により、感染した利用者は翌日入院。濃厚接触者は10名程度、その後拡大には至らず、結果として感染者は1名であった。

②は職員が外食の際に感染した可能性が高く、自宅待機。濃厚接触者は0名

③は通勤時の交通機関内での感染の可能性が高い。また、別ルートで利用者1名感染(症状軽度)、さらに別ルートで職員が感染していたがこの3名の発症で終息した。

〔Ⅱ〕改築工事の進捗状況について

2020年度に入り、ホームの大規模修繕計画が具体的に進められており、設計会社が見積書作成のための調査を行う。

最終結果が2021年6月に設計会社から出されたが、金額は最低限の老朽化修繕でも830,000千円という高額に対し、補助金額が50,000千円という状況もあり、補助金対策・改築を含め再検討に至る。その後理事会で改築の方向で議決された。

〔Ⅲ〕 緊急ショートステイの受け入れについて

ご利用者は女性 9 名、男性 1 名の計 10 名。延べ利用日数は 109 日であった。(前年度 女性 8 名、男性 2 名 計 10 名 延べ利用日数 133 日)

主な利用目的としては介護者の急病・急逝、介護者の入院・介護者からの虐待などが見受けられる。受け入れる施設側として 2021 年度は施設内にもコロナ感染が年度内 3 回という経験からも、緊急受け入れが必要という状況は理解しつつも、(感染防止という)より慎重な受け入れ対応を強いられた精神的なストレスが多かった一年と言える。

〔Ⅳ〕 入所ご利用者の寝たきり度・認知症自立度について 2022. 3. 31 現在 単位(人)

寝たきり度

	J	A	B	C			計
男性	0	2	13	2			17
女性	1	22	49	8			80
合計	1	24	62	10			97

「障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度）判定基準」

ランク J 何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する。

ランク A 屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしには外出できない。

ランク B 屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体である。

ランク C 1 日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替において介助を要する。

認知症自立度

	自立	I	II	III	IV	M	計
男性	0	2	7	7	1	0	17
女性	4	3	19	49	5	0	80
合計	4	5	26	56	6	0	97

「認知症高齢者の日常生活自立度判定基準」

ランク I 何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。

ランク II 日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。

ランク III 日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする。

ランク IV 日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。

ランク M 著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。

〔V〕入所ご利用者の要介護度の状況について（前年度末：比）

	《2021. 3. 31 現在》		《2022. 3. 31 現在》	
	男 性		男 性	前年同日比増減
要介護1	1名		0名	-1名
要介護2	0名		1名	+1名
要介護3	3名		4名	+1名
要介護4	1名		4名	+3名
要介護5	12名		8名	-4名
合 計	17名		17名	±0名

	《2021. 3. 31 現在》		《2022. 3. 31 現在》	
	女 性		女 性	前年同日比増減
要介護1	3名		2名	-1名
要介護2	6名		4名	-2名
要介護3	10名		14名	+4名
要介護4	35名		31名	-4名
要介護5	31名		33名	+2名
合 計	85名		84名	-1名

【栄養部の取り組み 栄養管理係・総合給食係】

2021年度は、昨年同様に新型コロナウイルス感染症の影響によりご利用者の活動が著しく制限され、ご家族との面会や外出、行事の縮小化も有る中で、栄養部として何が出来るかを検討した。その結果、ご利用者の健康面では栄養の充実を、生活面では食の楽しみを意識し食の提供とイベント等も企画・実施した。

栄養部全体の取り組みとしては、地域のご利用者の低栄養改善のため、摂食嚥下困難者の配食を継続し在宅生活を支援した。また桜町病院言語聴覚士等の多職種と連携し適切な嚥下状態の確認を行い、誤嚥性肺炎の予防、低栄養高リスク者の減少などADLの維持と向上に繋がるよう努力した。

◎総合給食係では、日々の安心・安全に留意し食事の提供ができるよう年間を通して実施した。食の楽しみとして、行事食・郷土料理・デザートバイキングなど工夫し企画・実施した。

◎高齢福祉部門3施設は、食の提供に際して不測の事態が発生した場合でも栄養部の連携により、対応できる体制づくりが継続できている。

◎ご利用者様の生の声を聴くために、利用者懇談会での聴き取りや、満足度アンケートを実施。集計と分析を行い、日々の献立に反映させた。

◎栄養管理係では、ご利用者様の栄養状態を把握し、多職種と連携し食事面からサポートできる体制を前年から引き続き継続した。総合給食係と連携し、食事形態の迅速な対応を実施した。

◎多職種と連携して取り組んでいる加算取得は継続し、取得出来た。

【施設整備状況】

建設後 36 年を超え、ライフラインを初めとする高額な設備機械の更新や修繕対応が近年は続いている。当初は大規模修繕で乗り切ることとしていたが、修繕規模の大きさ、補助金額、自己負担額やマーケティングの問題もあり改築へと方向転換がされている。

そのための次年度の課題として、職員定着・業務効率化・経済的安定が求められるが、エネルギーや食材の高騰という懸念材料も有る為、創意工夫が求められる。

◎小金井市補助金を活用し、生ごみ処理機を購入した。

◎介護用ベッドは、老朽化し不具合が心配な物を中心に毎年複数台を更新しているが、今期も家族会寄付などを利用し整備した。

◎修繕費執行については、大きな部分としてエレベーターの段差・振動解消工事を行った。

◎計画的に優先順位をつけて予算化しているが、全体の老朽化による修理・更新も多くなっており、対応に追われるという状況は続いている。

1. 主な固定資産取得（器具及び備品・車輛運搬具）

●	7/31	生ごみ処理機（小金井市補助金活用）	3,731,090 円
●	4/30	車椅子	139,000 円
●	5/31	L A Nフォルダ	135,300 円
●	11/30	介護用電動ベッド 1 台	298,500 円
●	11/30	車椅子体重計	176,000 円
●	11/30	A E D本体セット	302,500 円
●	3/31	車椅子	139,000 円
●	3/31	車椅子	139,000 円

主な修繕費支出

●		汚物除去機	185,900 円
●		ブラストチラーガス漏れ修理	309,276 円
●	10/31	チラー冷房工事(緊急)	195,250 円
●	10/31	階段転落防止柵取付工事(3 階)	165,000 円
●	11/30	エレベーターインバーター工事	3,300,000 円

2. 労災状況等

◎2021/7/30 介護職員 利用者居室にて

臥床介助中 2 人 1 組で平行移乗していた時に、無理な体位であったために腰に強い痛みを感じた。向きを変えたり屈んだりすると痛みが出て歩行困難になった。

◎2021/10/1 看護職員 針刺し事故

使用済みインシュリン注射の針を破棄しようと針棄てケースを左手で持とうとしたところ、翼状針の先端が 5mm ほど出ており左手第 2 指に刺さってしまった。

◎2021/10/14 介護職員 トイレにて

利用者にトイレで便座から立ってもらった時に、立位を保持するために持ち上げてしまったために左腰に痛みを感じ踏ん張ったり座ったりすることができなくなった。

◎2022/2/20 介護職員 利用者居室にて

利用者のベッド付近で夜勤時朝の排泄ダイパー交換時に発生。利用者のベッド上での位置を直すため両腕を利用者本人の体のしたに入れ動かした時に腰を捻った。

◎2022/3/28 介護職員 利用者居室にて

利用者臥床介助中、中腰から立ち上がった時に腰あたりに痛みを感じる。腰から背中に痛みが広がり呼吸する度に痛みが走り業務従事が難しくなった。

3. 研修参加状況

No.	研修名	主催	場所	日程	参加者
1	栄養ケア・マネジメント研修会	東社協	配信	6/1-15	栄養部
2	令和3年度リスクマネジメント研修	全国経営協	ZOOM	6/29	小野義将
3	令和3年度介護報酬改定、BCP・LIFEの重要ポイント	Chatwork (株)	ZOOM	6/8・29	介護・栄養・医務係
4	高齢者施設向けBCP作成支援特別講座	東京都高齢者施設等BCP策定支援事業	配信	6/14-8/31	藤川・西河
5	認知症の方摂食嚥下支援を理解する	多摩府中保健所 歯科保健事業	配信	7/20	栄養・医務
6	右肩下がりの人の運動 ～シルバーリハビリ体操～	東京都社会福祉協議会	配信	7/5-19	芦澤
7	権利養護研修①・リスクマネジメント	施設内	動画配信	8月	全職員
8	成人のアレルギー疾患に関する相談実務研修	東京都福祉保健財団	配信	9/17	看護師
9	よくわかる！！LIFE活用術 「前編」	東京都社会福祉協議会	配信	9/22-10/22	全職員
10	防護服の着脱及び廃棄の研修	施設内	各係、707	8-9月末	全職員
11	よくわかる！！LIFE活用術 「後編」	東京都社会福祉協議会	配信	10/25-11/26	全職員
12	認知症医療介護従事者向け研修	桜町病院認知症疾患医療センター	ZOOM	10/12	木野
13	令和3年度栄養管理講習会	東京都多摩府中保健所	WEB 配信	10/25-30 11/22-27	西河
14	令和3年度東京都高齢者権利養護研修	東京都福祉保健財団	ルネこだいら	11/2	時田
15	ミールラウンドでの食事観察	東京都社会福祉協議会	WEB 配信	11/18-12/15	西河
16	東京都老人福祉施設感染症対策指導者研修	東京都福祉保健局	WEB 配信	11/23	小林
17	介護報酬請求事務に関する研修会	東京都社会福祉協議会	WEB 配信	1/24-2/23	事務・相談
18	介護サービス事業者支援研修	東京都国民健康保険団体連合会	WEB 配信	2/1-26	全職員
19	権利養護研修②	施設内	動画配信	1月	全職員
20	ポジショニング・シーティングの考え方と実践	東京都社会福祉協議会	ZOOM	2/15-28	機能訓練指導員・介護職員
21	メンタルヘルスケア 動画研修	安全衛生委員会	動画研修	3月末迄	全職員

II 桜町高齢者在宅サービスセンター

通所介護・訪問介護・訪問入浴介護・居宅介護支援・小金井市委託事業

栄養事業（給食・さくら配食）

小金井きた地域包括支援センター（小金井市委託事業・介護予防支援）

【2021年度利用状況報告】

種別	種別	定員	年間 延定員	延べ利用 者数	1日平均 利用者	利用率 (2021年)	利用率 (2020年)	利用率 (2019年)
介護保険事業	通所介護（ 一般・予防・総合 事業）	30名	9,700	7,244	23.6	74.7%	77.4%	91.8%
	通所介護(認知)	24名	7,368	4,547	14.8	61.7%	61.9%	74.9%
	訪問介護	120名/週	6,140	5,991	19.5	87.6%	106.6%	97.0%
	訪問入浴	5名/日	1,025	875	4.3	85.4%	80.6%	96.4%
	居宅介護支援	160件/月	1,920	1,961	163/月	102.1%	102.7%	100.2%
栄養事業	予防・総合事業 プラン	300件/月	3,600	3,573	298/月	99.3%	95.7%	97.6%
	給食	38食	11,666	9,908	32.3	84.9%	83.4%	98.4%
	配食サービス	55食	16,115	16,213	5535	100.6%	94.9%	96.5%
市委託事業	やすらぎ支援	年間延派遣回数 98回 実利用者数 6名 支援員登録数 9名						

【利用者の動向】

通所介護・認知症通所介護の要介護度の状況

① 通所介護（一般・総合事業）

2021年度	事業対象	要支1	要支2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
延人数	222	1,021	601	2,704	2,148	300	194	52	7,242
割合	3.1%	14.1%	8.3%	37.3%	29.7%	4.1%	2.7%	0.7%	100.0%
2020年度	事業対象	要支1	要支2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
延人数	161	911	656	2,836	1,657	749	302	234	7,506
割合	2.1%	12.1%	8.7%	37.9%	22.1%	10.0%	4.0%	3.1%	100.0%

② 認知症対応型通所介護

2021年度	要支1	要支2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
延人数	0	0	1,253	1,092	1,124	779	299	4,547
割合	0.0%	0.0%	27.6%	24.0%	24.7%	17.1%	6.6%	100.0%
2020年度	要支1	要支2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
延人数	0	0	1,164	705	1,659	753	283	4,564
割合	0.0%	0.0%	25.5%	15.4%	36.4%	16.5%	6.2%	100.0%

【職員】

	2021年4月1日 の職員数			年間退任・就任						2022年4月1日 の職員数		
	正職員	非常勤職員	合計	正職員		非常勤職員		合計		正職員	非常勤職員	合計
				就任	退任	就任	退任	就任	退任			
センター長	1名		1名					0	0	1名		1名
事務長			0名					0	0			0名
介護員	1名	10名	11名				2	0	2	1名	8名	9名
相談員	9名	1名	10名	3	1	1	2	4	3	9名	1名	10名
看護師	1名	5名	6名		1	1		1	1		6名	6名
介護支援専門員	4名	2名	6名	1	1			1	1	4名	2名	6名
訪問介護員		10名	10名				1	1	1		10名	10名
運転員		4名	4名				2	2	2		4名	4名
栄養士	2名	1名	3名					0	0	1名	1名	2名
調理・補助・宅配		6名	6名					0	0		6名	6名
機能訓練指導員		2名	2名					0	0		2名	2名
事務員		2名	2名					0	0		2名	2名
高齢住宅管理人		6名	6名					0	0		6名	6名
清掃員		2名	2名					0	0		2名	2名
合計	18名	51名	69名	4	3	5	7	9	10	16名	50名	66名

【施設運営状況】

(1) 財務について

2021年度も新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、通所介護事業では緊急事態宣言やまん延防止措置発令の影響から利用控えや長期欠席が相次ぐ状況がみられた。訪問介護事業や居宅介護支援事業については、感染症の影響は特に受けことはなかったが、センター事業全体の選択と集中の方針を進めるにあたり、一旦利用を制限したり利用を他事業所に移行してもらう必要が生じたため安定した利用実績を残すことができなかった。桜町センター全体の収入は予算値（二次補正予算値）274,617千円に対して実績値は268,793千円（執行率97.9%）であった。

支出面では、時間外労働の削減や事務費・事業費の削減に取り組み予算値（二次補正予算値）280,680千円に対して実績値は278,105千円（執行率99.1%）となり支出削減はある程度効果的に行えた。

結果、2021年度桜町高齢者在宅サービスセンター事業全体の当期活動増減差額は15,798千円の赤字、当期資金収支差額は10,798千円の赤字となった。

収支が赤字化した主な原因は下記の通りである。

- ① 新型コロナウイルス感染症による利用控え（通所介護事業）
- ② 新型コロナウイルス感染症の影響による新規利用依頼の低下（通所介護事業）
- ③ 新型コロナウイルス感染者の発生により2/5～2/12までの期間事業の休止（通所介護事業）
- ④ 事業の選択と集中を目指すための移行期による影響（訪問事業・さくら配食）
- ⑤ 職員入替（定年・退職）による新規利用者の受入中止（居宅介護支援・訪問介護）

ある程度予測していたコロナ禍での利用者受け入れ対応が機能出来ず、なかなか打開策を見つけれなかった。その中で2月に発生した通所介護利用者・職員のコロナ感染者発生は大きな打撃となった。

2021年度は事業の選択と集中を目指した1年であった。その中でさくら配食の廃業、訪問入浴事業の縮小を行い、2022年度以降に向けた効率的な素地や体制は出来つつあると認識している。弱みを捨て、強みを生かし今後も続くであろうコロナ禍と共存しながら事業を立て直していきたいと考えている。

(2) 組織力向上・人材育成への取り組み

高齢福祉部門の組織力向上について経営会議・運営会議・職員会議を中心に取り組んできた。桜町センターだけを見てもまだまだ課題は多く、係間や職員間の組織的なコミュニケーション不足が大きな課題となっている。今後も職員が同じ方向を向いて主体的性をもって課題に取り組むことのできる関係づくり・人材の育成を目指したい。

- 1) センター長による職員面談の実施
- 2) 係長による職員面談の実施
- 3) 栄養係さくら配食事業中止に向けた取り組み
- 4) 2021年4月の介護報酬改定への対応
- 5) フィットニングサポートの継続的实施
- 6) 小金井市介護事業者連絡会への参加
- 7) 永年勤続表彰の実施
- 8) 経理・総務業務の法人本部統合への動き

(3) サービスへの取り組み

※【利用者支援状況で取り上げ】

【利用者支援状況】

(1) リスクマネジメント

1) 利用者事故発生事例

- ①2021年11月トイレ手洗い場にて転倒。頭部の裂傷と打撲あり、受診対応し5針縫合。頭部CT検査は異常なし（転倒事故）
 - ②2022年1月送迎時自宅前にて転倒。特に怪我等なし（転倒事故）
 - ③2021年11月誤って薬を倍量服薬介助してしまう（誤薬）
- ※いずれも大事には至っていないが、①案件については小金井市に報告している。

2) 破損事故発生事例

- ・2021年6月ヘルパー派遣時、ハンガーを破損してしまい代金を弁償（訪問介護）

3) ヒヤリハット

通所介護係では、2021年度も年間を通してヒヤリハット事例を細微な案件であっても報告し、ミーティング内で事例の共有・改善策を話し合ってきた。2021年度に事例として挙げられたヒヤリハットの分類と件数は下記の通りである。

- ・送迎（18件）
- ・入浴（2件）
- ・転倒・移動（15件）
- ・服薬（6件）
- ・食事（9件）
- ・物品返却忘れ（5件）
- ・他（20件）

※事例の共有・改善策の実施は、事故や苦情を未然に防いでいると考えられる。また、職員の責任感や緊張感をもった対応にもつながっている。

4) 苦情

2021年度は運営会議内のサービス・業務向上委員会で各事業で挙げた要望や苦情について取り上げ、情報共有や対応の検討を実施した。

また、年1回の第三者サービス評価会議についてはコロナ禍もあり今年度も中止とした。

5) 新型コロナウイルス感染症について

① 施設としての対応

A 緊急事態宣言・まん延防止重点措置発令時

- ・ご利用者様受入れの際の感染症予防対策の実施
- ・職員健康管理の徹底)
- ・職員が感染した場合、濃厚接触者となった場合の労務の取り決め
- ・入館者制限
- ・ボランティアの受け入れ中止
- ・職員の施設間往来の原則禁止
- ・新型コロナ感染症マニュアルの更新
- ・抗原定性検査キットによる東京都集中的検査の週1回実施

② ご利用者様・職員感染事例

A: 経過

- ・2/4(金)通所介護利用者1名が、他の通所介護利用時に抗原検査の結果コロナ陽性と判明。桜町センターは2/2と2/3に利用されていた。
- ・2/7(月)、2/2と2/3に①利用者と接触のあった職員1名がコロナ陽性と判明。
- ・2/8(火)、2/4に②職員と入浴介助で接触のあった認知対応型通所介護利用者1名のコロナ陽性判明。

B: 対応

- ・通所介護事業を感染拡大の防止のため、2/5～2/12まで休止とする。
- ・認知症対応型通所介護を感染拡大防止のため、2/8～2/12まで休止とする。

C: 感染者のその後

- ・感染した2名の利用者、1名の職員ともに、隔離期間を経て体調が悪化することもなく回復。

D: 考察

- ・今回の感染では濃厚接触者はいないとの判断を保健所からいただいていたが、感染した利用者と感染した職員とは接触する回数が多かったこともあり感染したと考えられる。
- ・入浴中は利用者はマスクを外すため、感染のリスクが高いことを再認識した。

(2) フィットिंगサポートへの取り組み

- ① 11月長年に渡り外出できず、2年程入浴できていない方S様に対して通所介護に繋げるまでのサポートとして、入浴介助のフィッティングサポートを実施する。
- ② 11月家族から追い出され、他市から引っ越してきた方E様に対して、サポート体制が取れないと理由から入浴介助のフィッティングサポートを実施する。

(3) サービスへの取り組み

施設重点取組事項

1) 通所介護・受託事業係

① 一般型通所介護・認知症対応型通所介護・総合事業通所型サービス

- ・引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた1年であった。緊急事態宣言やまん延防止重点措置によりご利用者様の利用控え（特に介護の低い方にその傾向が大きく見られた）が頻発した。
- ・様々な感染症予防対策を講じて利用の促しや新規利用者獲得を試みたが、利用者数が多くなれば密が出来るといった悪循環もあった。
- ・一般型通所介護の魅力である「イベントボランティア」「活動ボランティア」は受入れ中止や状況によって制限を掛けたことにより、日々の活動内容に苦慮することが多くあったが、感染予防を実施したうえでの活動については、職員も利用者も理解を得たうえでの確に実施した。
- ・コロナ禍の活動として、WEBを利用したオンラインツアー（6月：鎌倉、8月：船橋）を実施し大変好評であった。
- ・2月には、通所介護の利用者2名、職員1名が新型コロナウイルスに感染し、感染拡大防止のため2/5～2/12の営業を休止した。
- ・上記理由等により、一般型通所介護では利用率目標90%に対し、年間の平均利用率は74.7%、認知症対応型通所介護では利用率目標70.8%に対し、年間の平均利用率は61.7%と低迷し、収入目標に対しても大きく下回った。
- ・職員自ら考え行動できる職員と指示がなければ何もできない職員との差が目立ち、自主的に行動できる人材育成の難しさを痛感しており、今後の大きな課題である。
- ・また来たいと思ってもらえるサービス提供は実施出来ていたと考えている。
- ・コロナ禍であっても、安心して利用してもらえる感染予防対策や魅力ある活動やプログラムの提供により、利用率を早急に回復していきたい。

② 地域支援事業（小金井市受託事業）

<やすらぎ支援事業>

2021年度末現在8名のやすらぎ支援員が登録しており、うち5名が訪問活動中である。現在6名のご利用者様が事業を利用されている。新型コロナウイルスによる緊急事態宣言中やまん延防止等重点措置中の派遣は中止とし、代わりに電話による傾聴を実施した。また支援員とは、担当職員が電話を通じてご利用者様の状況確認や指導、情報交換を行った。

また、認知症サポーター養成講座の事務局機能も委託されており、適切なオレンジリング・テキストの在庫管理に努めた。

<家族介護教室>

感染予防対策を講じたうえで、「高齢者の排便管理」をテーマとして3月24日に7名の方が参加され開催した。皆関心を示し大変好評であった。

<サブスタッフ養成・活動事業>

通常下半期に実施していた「サブスタッフ養成事業」については、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、小金井市介護福祉課の意向もあり本年度も中止となった。

サブスタッフ活動については、今までに養成講座を卒業された計7名の方が、桜町センター総合事業通所型サービスの「サブスタッフ」として、ご利用者様支援のための活動を行

ったが、緊急事態宣言中とまん延防止重点措置中の活動は中止とした。

③ グリーンタウン高齢者住宅管理（小金井市受託事業）

現在 69 世帯 85 名の入居者を対象に管理人 6 名で、月曜～土曜の日中帯に巡回や安否確認の管理業務を行っている。管理人とご入居者様との信頼関係は良好で、関係機関とも連携を密にとることで安全に安心して生活できる環境づくりに貢献できていると感じる。

昨年度まで月 1 回行っていたグリーンタウン喫茶は、新型コロナウイルスの感染症の状況を鑑み中止とした。

2) 訪問サービス係

① 訪問介護

- ・2名のヘルパーがコロナ感染（家族内感染と感染経路不明）。ヘルパー間の協力でサービスに穴を空けることなく派遣できている。利用者もしくはご家族でコロナ陽性となったケースについての派遣は見合わせている。

他サービス利用で感染グレーゾーンとなった利用者については、独居で身寄りなしのケース（1件）については、標準予防策とガウンテクニックにて派遣を行っている。

罹患しやすい新型コロナウイルスによる感染状況を踏まえ、2022年度中に当ヘルパー事業のBCP作成を行う予定。

- ・カスタマーハラスメント2件発生（利用者1件、家族1件）。

訪問の度に本来の訪問介護計画の内容以外の作業を迫られ、かつヘルパーを恫喝する利用者のケースと、ヘルパーのユニホームから健康を害する洗濯洗剤臭がすると利用者宅からヘルパーを追い出し非常識なクレームをつけてくるご家族（普段同居していない）のケースがあった。

- ・数値目標は達成できず。3月末時点での年度利用率平均は87.6%（前年度の数値目標で見ると96%）。年末に複数の要介護利用者の終結や、サービス提供責任者の3月末退職に伴い引き継ぎや体制上の調整のために年末から新規受付をストップした影響もある。
- ・サ責の負担は誰からみても大きく感じる。昨年度末に登録ヘルパー派遣から週40時間の雇用契約へ変更となるヘルパーがいたことで、派遣以外時の事務補助や派遣調整時の要員としてサ責の業務負担をカバーする存在ができたことは大きい。

② 訪問入浴介護

- ・2021年10月末の「高齢者部門組織体制について」の方針に基づき、当事業の縮小が決まる。新規の相談受付を中止し、利用者の在宅ケアの状況に配慮しつつ他事業者への移行を進め、3月末までに火曜、木曜、土曜午前の運行を終了。新年度7月以降の運行計画は、月曜午後、金曜終日の週1.5日としている。

- ・事業縮小の方向と新型コロナ感染予防の観点から無理のない形で調整したことと、大幅縮小決定以降の新規受付の中止と他事業所への移行調整もあり利用率は85.4%だった。下半期の新規の相談件数はゼロの月もあれば月に10件以上と異常な時期もありニーズの変動の大きさを更に感じる年度となった。

- ・利用者のQOL向上に資する意見交換は行われており、随時サービス提供に活かされた。利用者と家族に喜んで頂けるサービスの実践は、質の向上と評価できる反面、サービス過剰とならないよう提供時間や医療的な処置内容を目安にスタッフ間で確認を

し合っている。

- ・MCSの参加はPCでの情報のやりとりになるため医療サービス事業者のようにリアルタイムで情報発信・共有ができないことへ疑問の意見もあったが、実際のサービス提供においてその情報の活用頻度は高く、情報発信・共有できるメリットは大きかった。

3) 栄養係

①「食事の満足度向上に対する取り組みを行い、日々の生活に楽しみが持てるような食の提供に努める」目標に対して

- ・上記目標に対して、おおむね達成できた。
- ・満足度アンケートについては実施できていない。2022年度は他職種と協働し満足度アンケートを実施する。
- ・コロナウイルスの関係で中断しているミーティングについては再開する。

②「食に関する支出の削減及び収入増に組み、財務改善につなげる。」目標に対して

- ・合理的な食事提供・献立作成・食形態などの整備は十分に行えず、各施設で実施している状況。今後も継続した検討・取り組みが必要。
- ・新型コロナウイルスの影響により、消耗品（アルコール、手袋等）の使用量が大幅に増加している。代替品の検討も必要である。
- ・今後の事業展開を見据えた厨房機器の入替えや修繕計画が必要である。

③さくら配食（自由配食）からの事業撤退

- ・事業の選択と集中、赤字続きの事業の実態、小金井市周辺の配食事業者状況を勘案し、7月の理事会にて事業撤退の方針の決定。
- ・7月下旬：利用者・家族、関係機関に2022年3月での事業撤退について通知・説明。
- ・11月30日にてさくら配食（昼食）の終了
- ・3月31日にてさくら配食（夕食）の終了

4) 居宅介護支援係

①利用者の課題を把握し、課題解決に向けて取り組むことに関して

- ・定例会議で取り上げたのちに、各ケアマネジャーがサービス担当者に伝えるようにしていた。コロナ関連事項についてはよく連絡を取り合えたと考えている。
- ・10月にみずたま介護ステーション、介護プランセンターこきん、SOMPOケア、4事業所合同の事例検討会を戸塚ホールで開催した。参加者からは意見交換も活発にできて充実していた、と各参加者から好評だった。他事業所の介護支援専門員と交流しながら学べるよい機会になったので感染状況が許せば今後も集合形式で継続したい。
- ・他デイサービス事業所の営業用チラシなどをデイサービス相談員に提供していた時期もあったが、いつしか必要とされているかどうか不明になり、提供しないままになってしまっていた。今後は担当者に必要性を確認してから対応するようにすることが望ましいと考える。

②コロナ禍における安全なサービスの提供に関して

- ・コロナ禍ではモニタリングは訪問しなければ減算とは必ずしもならないので、利用者の状況に応じて電話やメールでのモニタリングも可とした。感染状況に応じて担当者会議の代わりに照会にすることなど、定例会議で感染対策についての意識や方法を共有した。

オンライン研修では集合形式の研修に比べてモチベーションが下がるという意見もあり、参加しにくいという意見もあった。現にコロナ禍となってから研修等の参加頻度が下がった。

- ・支援経過を入力しておくことも大事だが、日ごろから問題になっていることなどを口頭で共有しておくこと他の担当者でもスムーズに対応できると感じた。

③数値目標に関して

- ・年度前半は目標を超えていたが、12月に職員の交代があったことに加え、1月からの感染者増もあって新規利用者の受け入れを控えて後半は目標を切る状態だったが、通年では目標数値を達成できた。減算はなかった。

5) 地域包括支援係 (小金井きた地域包括支援センター)

①各自の業務を理解し、偏りなく協力し合える体制をつくることに関して

- ・密を回避するためしばらく事務所は2つに分かれて業務していたが、感染状況がある程度落ち着いたところで合流した。相談対応の場面を直接見聞きできるようになったため、速やかに相談、助言が行えるようになった。
- ・直プランの増加や委託事業との兼ね合いもあり、困難ケースや虐待対応は経験のある職員で引き続き対応した。個々の業務は熟しているが、担当以外の業務には声を掛け合ったり協力し合うというところがあまりないことや日々の業務がOJTであることも伝わりにくい状況など人材育成という点では課題が残る。

②地域のニーズに合った通いの場の在り方や参加方法を住民と共に考え、地域包括ケアシステムを進めていくことに関して

- ・コロナ禍で集うことが難しい状況が続く中、ネットワークづくりにおいては、都・市が主催するスマホ講座を生活支援コーディネーターが案内し、オンライン会議やスマホの普及啓発に努めた。
- ・少人数で安全に集う方法として屋外で散歩しながらおしゃべりをするという活動（歩こう会）の立ち上げ支援を行った。月1回の活動は継続しているが、オンライン会議も屋外散歩も頭打ちになっているため、参加可能な人を紹介するなどの支援を行っている。
- ・認知症に対する取組みとしては認知症地域支援推進員を中心に認知症サポーター養成講座を地域の方々向け、市職員向けに実施した。
- ・「認知症カフェ」について、感染対策を十分行った上で毎月開催している。会場である戸塚ホールの使用許可が下りなかった月以外は開催し、参加者も15~20名となっている。コロナの影響で残念ながら飲食の提供ができないため、脳トレや認知症に関する講演など参加者が飽きずに通えるよう配慮した。来年度は戸塚ホールでの開催はやめ、桜町センターに移して開催することを検討している。現状、包括主体での開催だが、運営協力できそうな人材の発掘も心掛けている。

③医療と介護の連携を図り、住み慣れた町で暮らし続けられるよう支援体制を強化することに関して

- ・前年同様医療と介護の連携会議をはじめ、他の研修・会議への参加は基本オンラインで、直接顔を合わせる機会は少なかったが参加した。
- ・認知症の疑いがある方の相談に対して、桜町病院や菊地脳神経外科を紹介し、専門医へ繋げることができた。
- ・今年度から認知症検診がスタートし、市民から認知症に関する問い合わせが増えた。点数的には問題ない方でも本人、家族が更なる検査や受診を希望された場合は専門の医療機関の案内を行った。

2021年度 在宅サービス部 利用実績集計表 (桜町高齢者在宅サービスセンター)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通所介護	通所介護 営業日数	26	24	26	27	26	26	26	26	25	24	24	27	307
	1日 定員30名(金曜日は40名)	830	760	820	850	820	820	830	820	790	760	750	850	9,700
	実利用者人数	103	102	99	99	100	100	100	95	96	92	93	97	98
	延利用者数合計	652	568	622	643	636	645	648	614	599	540	407	670	7,244
	延利用者数(一般)	483	421	447	481	468	482	481	463	440	398	292	509	5,365
	延利用者数(現行相当型)	12	11	13	11	8	11	15	11	8	8	7	8	123
	延利用者数(市基準型)	157	136	162	151	160	152	152	140	151	134	108	153	1,756
	登録者数	106	106	106	106	108	109	110	110	110	108	106	107	108
	新規者数	3	3	1	1	3	3	2	1	3	0	2	4	26
	終結者数	2	3	1	1	1	2	1	1	3	2	4	3	24
	月利用率	78.6%	74.7%	75.9%	75.6%	77.6%	78.7%	78.1%	74.9%	75.8%	71.1%	54.3%	78.8%	74.7%
	認知症対応型 営業日数	26	24	26	27	26	26	26	26	25	24	24	27	307
	1日 定員24名	624	576	624	648	624	624	624	624	600	576	576	648	7,368
	実利用者人数	39	38	38	41	42	44	45	43	43	39	38	38	41
	延利用者数	406	362	406	420	412	416	417	417	366	335	251	339	4,547
登録者数	41	41	42	46	47	49	46	45	43	43	42	42	44	
新規者数	1	0	1	4	1	2	0	1	0	1	0	0	11	
終結者数	0	0	0	0	0	0	3	0	2	1	1	0	7	
月利用率	65.1%	62.8%	65.1%	64.8%	66.0%	66.7%	66.8%	66.8%	61.0%	58.2%	43.6%	52.3%	61.7%	
訪問入浴	訪問入浴 営業日数	18	16	17	19	17	17	18	17	16	16	16	18	205
	目標件数 5.0件/日 4日/週	90	80	85	95	85	85	90	85	80	80	80	90	1025
	延入浴件数	83	71	74	74	72	67	70	59	67	65	57	54	813
	延清拭件数	0	3	2	4	7	5	7	9	7	5	8	5	62
	登録者数	20	19	18	19	18	17	18	17	19	16	17	14	17.7
	新規者数	2	0	1	2	0	0	2	1	4	0	1	0	13
	終結者数	1	2	1	1	1	1	2	2	3	0	3	3	20
	月利用率	92.2%	92.5%	89.4%	82.1%	92.9%	84.7%	85.6%	80.0%	92.5%	87.5%	81.3%	65.6%	85.4%
訪問介護	訪問介護 営業日数	26	24	26	27	26	26	26	26	25	24	24	27	307
	目標件数 120件/週	520	480	520	540	520	520	520	520	500	480	480	540	6140
	延派遣件数	482	425	489	485	451	461	473	473	435	392	383	427	5376
	登録者数	64	67	65	65	64	64	65	65	65	59	57	55	62.9
	新規者数	1	3	0	1	0	1	2	1	0	0	0	0	9
	終結者数	0	2	1	1	1	1	1	0	6	2	2	3	20
	月利用率	92.7%	88.5%	94.0%	89.8%	86.7%	88.7%	91.0%	91.0%	87.0%	81.7%	79.8%	79.1%	87.6%
居宅支援	介護プラン作成件数 実績	170	169	170	172	170	165	164	160	158	156	152	155	1961
	160/月 新規	6	3	2	5	0	3	1	2	0	2	1	2	27
	終結	6	5	3	3	2	6	3	6	3	0	2	2	41
	法人紹介率 一般通所 合計	38/87	35/85	31/86	31/91	30/91	29/89	29/88	28/86	27/85	25/82	27/77	27/79	357/1026
	桜町	34	31	28	28	28	27	27	26	25	23	25	25	
	本町	5	5	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	
	認知通所 合計	28/32	28/32	29/33	29/33	29/33	30/33	30/34	30/34	30/33	28/31	25/28	27/30	343/386
	桜町	22	22	23	23	24	25	25	25	25	23	22	22	
	本町	7	7	8	8	8	8	8	7	6	6	4	6	
	訪問介護	16/63	17/65	18/64	19/63	19/61	14/59	15/62	15/57	15/60	15/56	15/53	14/56	
	訪問入浴	4/7人	4/7人	4/7人	4/7人	4/6人	4/6人	4/6人	2/3人	3/5人	2/4人	4/7人	3/7人	
	訪問看護	15/48	15/45	15/45	14/45	14/43	14/41	13/45	12/44	13/43	12/43	12/41	13/43	
短期入所	6/20人	7/21人	7/21人	5/20人	7/20人	7/20人	6/18人	/人	6/20人	6/22人	7/24人	9/26人		
認定調査件数 他市含 5/月	4	4	4	3	4	4	4	4	4	2	3	4	44	
包括支援	介護予防・総合事業プラン件数 300件/月	293	295	293	295	288	285	296	301	306	305	305	311	3573
	直営件数 210件/月	219	223	220	222	219	219	231	235	240	238	237	242	2745
	直営新規件数	2	5	5	5	2	0	3	8	10	4	8	8	60
	直営月利用率	104.3%	106.2%	104.8%	105.7%	104.3%	104.3%	110.0%	111.9%	114.3%	113.3%	112.9%	115.2%	108.9%
	委託件数 90件/月	74	72	73	73	69	66	65	66	66	67	68	69	828
	委託新規件数	1	1	2	0	0	2	0	0	2	0	1	3	12
委託月利用率	82.2%	80.0%	81.1%	81.1%	76.7%	73.3%	72.2%	73.3%	73.3%	74.4%	75.6%	76.7%	76.7%	
栄養事業	自由配食 営業日数	25	23	26	25	25	24	26	24	24	23	22	26	293
	目標食数 55食/日	1,375	1,265	1,430	1,375	1,375	1,320	1,430	1,320	1,320	1,265	1,210	1,430	16,115
	実人数	100	102	99	98	95	95	92	88	85	85	83	79	92
	延食数	1,578	1,492	1,607	1,493	1,524	1,430	1,519	1,324	1,085	1,064	1,004	1,093	16,213
	登録者数	121	120	119	118	114	109	105	98	94	94	92	88	106
	新規者数	2	2	0	0	0	0	0	0	0	2	3	0	9
	終結者数	1	3	1	1	4	5	4	7	4	2	5	4	41
	自由配食月利用率	114.8%	117.9%	112.4%	108.6%	110.8%	108.3%	106.2%	100.3%	82.2%	84.1%	83.0%	76.4%	100.4%
	給食数 (通所昼)	886	786	846	896	902	894	888	860	814	725	544	867	9,908
	利用者実人数	4	6	6	5	5	5	5	6	6	6	6	6	5.5
やすらぎ支援	延派遣回数	電話傾聴1	電話6訪問	電話13訪問	電話10訪問2	電話5手紙5	電話5手紙5	電話5手紙5	訪問11	訪問8	訪問6	電話6訪問	電話6訪問	0
	支援員登録数	7	7	7	7	7	7	7	9	9	9	9	9	7.8
	ボランティア総回数(生活)	49	7	14	15	0	0	37	40	35	22	0	0	219
	ボランティア 総回数(教養)	14	17	14	21	16	19	19	22	14	19	0	14	189

2021年度 部門別達成率

桜町高齢者在宅サービスセンター

上段:人(件)
下段:千円

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
一般デイ	人数予算	27人	747	684	738	774	738	747	738	738	711	684	684	765	8,748
	実績	(金36)	652	568	622	643	636	645	648	614	599	540	407	670	7,244
	差額		-95	-116	-116	-131	-102	-102	-90	-124	-112	-144	-277	-95	-1,504
	達成率		0.87	0.83	0.84	0.83	0.86	0.86	0.88	0.83	0.84	0.79	0.60	0.88	0.83
認知デイ	人数予算	17人	442	408	442	459	442	442	442	442	425	408	408	459	5,219
	実績		406	362	406	420	412	416	417	417	366	335	251	339	4,547
	差額		-36	-46	-36	-39	-30	-26	-25	-25	-59	-73	-157	-120	-672
	達成率		0.92	0.89	0.92	0.92	0.93	0.94	0.94	0.94	0.86	0.82	0.62	0.74	0.87
デイ計	人数予算		1,189	1,092	1,180	1,233	1,180	1,189	1,180	1,180	1,136	1,092	1,092	1,224	13,967
	実績		1,058	930	1,028	1,063	1,048	1,061	1,065	1,031	965	875	658	1,009	11,791
	差額		-131	-162	-152	-170	-132	-128	-115	-149	-171	-217	-434	-215	-2,176
	達成率		0.89	0.85	0.87	0.86	0.89	0.89	0.90	0.87	0.85	0.80	0.60	0.82	0.84
訪問入浴	人数予算	5.0人	90	80	85	95	85	85	90	85	80	80	80	90	1,025
	実績		83	74	76	78	79	72	77	68	74	70	65	59	875
	差額		-7	-6	-9	-17	-6	-13	-13	-17	-6	-10	-15	-31	-150
	達成率		0.92	0.93	0.89	0.82	0.93	0.85	0.86	0.80	0.93	0.88	0.81	0.66	0.85
訪問介護	件数予算	週120件	520	480	520	540	520	520	520	520	500	480	480	540	6,140
	実績		482	425	489	485	451	461	473	473	435	392	383	427	5,376
	差額		-38	-55	-31	-55	-69	-59	-47	-47	-65	-88	-97	-113	-764
	達成率		0.93	0.89	0.94	0.90	0.87	0.89	0.91	0.91	0.87	0.82	0.80	0.79	0.88
ケアマネ	件数予算	160件	160	160	160	160	160	160	160	160	160	160	160	160	1,920
	実績		170	169	169	172	170	165	163	160	158	157	151	155	1,959
	差額		10	9	9	12	10	5	3	0	-2	-3	-9	-5	39
	達成率		1.06	1.06	1.06	1.08	1.06	1.03	1.02	1.00	0.99	0.98	0.94	0.97	1.02
ケアマネ(認定調査)	件数予算	4件	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
	実績		4	4	4	3	4	4	4	4	4	2	3	4	44
	差額		0	0	0	-1	0	0	0	0	0	-2	-1	0	-4
	達成率		1.00	1.00	1.00	0.75	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	0.50	0.75	1.00	0.92
きた包括	人数予算		300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	3,600
	実績		293	295	293	295	288	285	296	301	306	305	305	311	3,573
	差額		-7	-5	-7	-5	-12	-15	-4	1	6	5	5	11	-27
	達成率		0.98	0.98	0.98	0.98	0.96	0.95	0.99	1.00	1.02	1.02	1.02	1.04	0.99
食事(デイ食費)	食数予算	38食	988	912	988	1,026	1,040	988	988	988	950	912	912	1,026	11,718
	実績		886	786	846	896	902	894	888	860	814	725	544	867	9,908
	差額		-102	-126	-142	-130	-138	-94	-100	-128	-136	-187	-368	-159	-1,810
	達成率		0.90	0.86	0.86	0.87	0.87	0.90	0.90	0.87	0.86	0.79	0.60	0.85	0.85
食事(自由配食)	食数予算	750	741	684	741	770	780	741	741	741	712	684	684	770	8,789
	実績		664	589	635	672	677	671	666	645	610	544	408	633	7,414
	差額		-77	-95	-106	-98	-103	-70	-75	-96	-102	-140	-276	-137	-1,375
	達成率		0.90	0.86	0.86	0.87	0.87	0.91	0.90	0.87	0.86	0.80	0.60	0.82	0.84
合計	人数予算		20,733	19,346	20,634	21,343	20,624	20,607	20,710	20,535	19,931	19,346	19,298	21,246	244,353
	実績		19,512	18,189	19,379	19,629	19,723	19,271	19,322	18,565	17,912	16,354	13,931	17,825	219,612
	差額		-1,221	-1,157	-1,255	-1,714	-901	-1,336	-1,388	-1,970	-2,019	-2,982	-5,367	-3,421	-24,741
	達成率		0.94	0.94	0.94	0.92	0.96	0.94	0.93	0.90	0.90	0.85	0.72	0.84	0.90

【施設整備状況】

(1) 概況説明

設置後 31 年が経過しており、ボイラー・ポンプ・厨房機器など様々な設備に修繕・メンテナンスの必要が出ている。また、備品の老朽化も目立っており部品交換や故障が多く、施設全体の現状を把握し必要箇所の優先度を決め計画的に整備を進めていく必要がある。

(2) 固定資産購入

● 2021 年 7 月	ノートパソコン購入	115,830 円
● 2022 年 7 月	送迎車両購入 (エスクァイア)	1,450,000 円

(3) 主な修繕費等

① 2021 年 5 月	温水ヒータ配管漏れ修理	115,500 円
② 2021 年 5 月	樹木の伐採・剪定	162,500 円
③ 2021 年 8 月	給湯ポンプ配管漏水修理	264,000 円
④ 2021 年 8 月	温水ヒータ不具合修理	220,000 円
⑤ 2021 年 12 月	浴室給湯・給湯工事	122,100 円
⑥ 2021 年 12 月	厨房ガステーブル修理	150,700 円
⑦ 2022 年 2 月	給湯ポンプ配管漏水修理	82,500 円

(4) リース資産

● 2021 年 11 月	地域包括支援センター支援ソフト (5 年間リース分)	3,851,400 円
---------------	----------------------------	-------------

【その他】

(1) 介護保険調査・変更届出関係

- ・ 2021 年 4 月介護報酬改定にともない「介護給付費算定に係る体制等に関する届出」の提出 (東京都、小金井市) (4/1 付) <各介護保険事業>
- ・ 理事長変更届 (6 月)
- ・ 法人本部住所地変更にとまなう届出 (東京都、小金井市) (9 月)
- ・ 指定居宅サービス事業者の運営状況等確認検査 (書類検査) 提出 (10 月) <通所介護>
- ・ 介護サービス情報公表訪問調査 (11/17)
<認知デイ・居宅介護支援、訪問介護、訪問入浴>
- ・ 認知症対応型通所介護管理者変更届 (小金井市) (1 月)

2021年度 研修実施一覧表（期間 2021/4/1～2022/3/31）

（部署名：桜町高齢者在宅サービスセンター）

日程	分類	研修内容	場所	氏名
5/14	介護保険	小金井介護事業者連絡会	ZOOM	鈴木 治実
8/20	介護保険	小金井介護事業者連絡会	ZOOM	鈴木 治実
9/16	介護予防	総合事業C型説明会	オンライン研修	鈴木 治実
11/19	介護予防	総合事業C型説明会	本町暫定集会室	鈴木 治実 江口 友美
12/20	介護保険	小金井介護事業者連絡会(通所グループ) ～新型コロナ感染対策勉強会～	ZOOM	星野 廣平
1/7,12,14	介護保険	東京都認知症対応型サービス事業管理者研修	ZOOM	新田 誌帆
2/6	総合	処遇改善支援補助金研修	オンライン講座	鈴木 治実
2/6	介護保険	介護保険集団指導(通所介護、訪問介護)	オンライン講座	鈴木 治実
2/23	介護保険	集団指導(通所介護)研修	オンライン講座	鈴木 治実
3/14	総合	コロナ禍で頑張る生活相談員研修	オンライン講座	秋山 仁

（部署名 桜町ホームヘルプステーション）

日程	分類	研修内容	場所	氏名
10/15	介護	東京都福祉保健局 介護職スキルアップ研修 医療的知識編 「高齢者の日常生活を支える身体の管理」 (基礎知識編)(無料動画配信)	センター内	志藤 将 織茂成美 丸田春香 服部正子 大久保真弓 平松千恵 蛭本美佳 後藤奈保美 坂田伸子 川崎なつみ
12/17	介護	東京都国保連介護サービス事業所支援研修会 「介護サービス事業者のリスクマネジメントと ハラスメント対策」(無料動画配信)	センター内	志藤 将 織茂成美 丸田春香 服部正子 大久保真弓 平松千恵 蛭本美佳 後藤奈保美 坂田伸子 川崎なつみ
3/12	介護	小金井市障害者地域自立生活支援センター主催 講演会・連絡会 オンライン聴講 「難病の方の地域生活を支える」 ～訪問ヘルパーの役割とは～	小金井市障害者 福祉センター内	丸田春香 川崎なつみ 蛭本美佳

(部署名 桜町ケアマネジメントセンター)

日程	分類	研修内容	場所	氏名
11月16日	医療	第21回 在宅医療ケア勉強会 「認知症の人を支える地域の輪作り」	オンライン	高野 満知子
12月10日	その他	合同事例検討会(市内居宅介護支援事業所)	戸塚ホール	塩田 美紀 他4名
12月16日	認知症	令和3年度 介護支援専門員研修	戸塚ホール	遠藤 直美
2月8日	リスクマネジメント	令和3年度 介護サービス事業者支援研修 介護サービス事業者のリスクマネジメントとハラスメント対策	オンライン	金丸 直子
2月24日	医療	第3回小金井市介護支援専門員研修「難病」	オンライン	高野満知子 森川靖枝
3月14日	その他	令和3年度小金井市介護認定調査員現任研	オンライン	森川 靖枝
1/27~3/25	その他	東京都主任介護支援専門員更新研修	オンライン	金丸 直子
3/22・3/28	その他	令和3年度小金井市介護支援専門員研修	第2庁舎8階	森川 靖枝

(部署名:小金井きた地域包括支援センター)

日付	分類	研修内容	場所	氏名
6/14・15	生活支援	生活支援コーディネーター初任者研修	オンライン	星野 廣平
6/24	精神保健	精神保健福祉基礎研修 I	オンライン	高野・中川
6/22、23	新任	東京都地域包括支援センター職員研修(初任者研修)	オンライン	松村 麻依子
7/30	認知症	東京都認知症地域対応力向上研修	オンライン	佐伯 良子
8/25	ケアマネ	【CMAT研修】令和3年度Web研修「ケアマネジメントに必要な相談援助技術とは」	オンライン	高野 美子
9/10	ケアマネ	【CMAT研修】令和3年度Web研修「認知症の方の意思を尊重するために」	オンライン	高野 美子
9/14、15	認知症	東京都認知症地域支援推進員研修(初任者研修)	オンライン	佐伯 良子
10/7	虐待	高齢者間の配偶者暴力を考える	オンライン	中川 麻砂子
10/11	虐待	三市合同虐待事例検討会	オンライン	中川 麻砂子
10/21	ケアマネ	「介護支援専門員への助言、指導について学び、相談援助のスキルアップを図る」	聖ヨハネ会戸塚ホール	高野 美子
12/13	ケアマネ	【CMAT研修】令和3年度第1回大規模研修「COVID-19第5波への対応の振り返りとこれから」	オンライン	高野 美子
12/16	ケアマネ	「認知症高齢者の意思をどこまで尊重し支援できるか？」	聖ヨハネ会戸塚ホール	高野 美子
2/24	ケアマネ	「難病の利用者への支援」	オンライン	高野 美子
3/22	ケアマネ	「実務に役立つファシリテーションスキル～多職種協働を豊かに機能するために～」基礎編	市役所第2庁舎8階	高野 美子
3/28	ケアマネ	「実務に役立つファシリテーションスキル～多職種協働を豊かに機能するために～」スキル向上編	市役所第2庁舎8階	高野 美子

Ⅲ 本町高齢者在宅サービスセンター（通所介護）

【令和3年度利用状況報告】

1. 事業別利用率状況（3か年の推移）

種別	定員	1日平均利用者数	利用率（R3）	利用率（R2）	利用率（R元）
通所介護（一般・予防）	25名	22.1名	88.4%	91.9%	92.8%
認知症型通所介護	12名	9.9名	82.1%	78.8%	85.7%
食の自立支援事業	80名	82.5名	103.1%	106.5%	103.6%

（1）通所介護（予防型・一般型）

①要介護度別実人数・延べ人数

介護度	要支1	要支2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
実人数	14	13	273	243	148	26	28	745
割合	1.9%	1.7%	36.6%	32.6%	19.9%	3.5%	3.8%	100.0%
介護度	要支1	要支2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
延べ人数	48	91	2339	2578	1321	271	149	6797
割合	0.7%	1.3%	34.4%	37.9%	19.4%	4.0%	2.2%	100.0%

●実人数 介護3以上 27.1% 介護3以下 72.9%

●延人数 介護3以上 25.6% 介護3以下 74.4%

②基本属性

平均年齢 87.6歳（最高101歳女性、最低65歳女性）

男女比率 男性22%：女性78%

利用登録者 要介護者 60名 要支援者 3名 合計 63名

新規利用者 23名 主な利用理由（外出機会の確保・転倒や認知症予防・趣味活動参加での生きがい作り・入浴希望等）

廃止利用者 27名 主な廃止理由（逝去・施設入所・転居・他サービス利用）

（2）認知症対応型通所介護

①要介護度別実人数・延べ人数

	要支1	要支2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
実人数	0	0	9	70	58	51	144	332
割合	0.0%	0.0%	2.7%	21.1%	17.5%	15.4%	43.4%	100.0%
介護度	要支1	要支2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
延べ人数	0	0	39	746	396	524	1318	3023
割合	0.0%	0.0%	1.3%	24.7%	13.1%	17.3%	43.6%	100.0%

●実人数 介護3以上 76.2% 介護3以下 23.8%

●延人数 介護3以上 74.0% 介護3以下 26.0%

②基本属性

平均年齢 85.4歳（最高97歳女性、最低74歳男性）

男女比率 男性38%：女性62%

利用登録者 要介護者 31名 要支援者 0名 合計 31名

新規利用者 16名 主な利用理由（認知症の方の全面的支援認知症ケア・見守り対応・家族介護軽減・入浴希望・その他等）

廃止利用者 13名 主な廃止理由（逝去・施設入所・長期入院）

【職員】

	令和3年4月1日の職員数			年間退任・就任						令和4年4月1日の職員数		
	正職員	非常勤職員	合計	正職員		非常勤職員		合計		正職員	非常勤	合計
				就任	退任	就任	退任	就任	退任			
センター長	1名		1名	1名	1名			1名	1名	1名		1名
生活相談員	4名		4名	1名				1名		5名		5名
介護職員		13名	13名			3名	4名	3名	4名		12名	12名
看護職員		4名	4名			1名	1名	1名	1名		4名	4名
栄養士調理員		4名	4名	1名				1名		1名	4名	5名
宅配員		12名	12名			2名	2名	2名	2名		12名	12名
食の自立 Co		2名	2名	1名			2名	1名	2名		1名	1名
事務員		1名	1名								1名	1名
運転員		3名	3名								3名	3名
清掃員		2名	2名								2名	2名
合計	5名	41名	46名	4名	1名	6名	9名	10名	10名	7名	39名	46名

※但し、兼務者は主たる業務でカウントしている。

【施設運営状況】

1. 指定管理協定更新の1年目

2021（令和3）年度は小金井市の指定管理協定の第5期（5か年：2016年度～2020年度）を経て、**第6期（5か年：2021年度～2025年度）の1年目**であった。

部門においては第4期高齢福祉部門中期経営計画【2020（令和2）～2022（令和4）年度】を踏まえ、経営の更なる恒常的安定を目指し、サービス・業務の向上に取り組んだ。

2. 財務報告

本年度（2021（R3）年度）決算は、資金収支会計で当期資金収支差額合計は、766千円の黒字となっている。

また、事業活動収支会計で当期サービス活動増減差額は、1,059千円の黒字である。事業活動収支会計における介護保険事業収益は1億5,308万円であった。

新型コロナウイルスの蔓延は、2021（R3）年に入ってから変異株の出現による更なる感染者数の増大している。小金井市内介護施設においても、複数の施設で感染者が出現し、ご利用者様・職員ともに市中感染の脅威に晒されてきた。その関係で、通所施設の利用の手控えが他事業所では多くみられた様子だが、当センターに限って言えば、手控えは限定的で収支バランスの崩れは想定内に留まった。

但し、10月～2月の利用率に低下がみられた。これは冬場の利用者の体調変化によるものだと考えている。今後は年間でのトータルの利用率管理の必要性を感じている。

【利用者支援状況】

1. サービス方針に則った取組み

1) 人格を尊重した福祉の実践

(1) 労務環境改善取組み

① 処遇改善計画の立案・実施

- ・ 処遇改善手当対象外職員への賃金改善など
- ・ 腰痛ベルト支給、国家資格受験料助成、健康管理支援（メンタルヘルスチェック、健康診断オプション検査助成）

② 雇用促進

介護員（2名 40h/w）、看護師（1名 24h/w）、宅配員（2名）採用

③ 身体の健康管理対策

- ・ 安全衛生標語の作成と MTG での唱和
- ・ 腰痛ベルト支給
- ・ 職員検診（10月）
- ・ インフルエンザワクチン予防接種（11月）

④ メンタルの健康管理対策

- ・ コミュニケーション標語の作成と MTG での唱和
- ・ コミュニケーション改善のための OJT の習慣化
- ・ ストレスチェックの実施（中央労働災害防止協会）

⑤ 建物設備修繕・更新

- ・ 火災警報器、誘導灯交換工事（4月）
- ・ ブルーレイ/DVD レコーダー購入（5月）
- ・ デジタルカメラ更新購入（5月）
- ・ 介護ソフトの更新（10月）

⑥ 記録の見直し

- ・ 通所介護計画書・個別機能訓練計画書のフォーマット見直し
- ・ 新規受入マニュアルの追加
- ・ 入浴マニュアルの改正

(2) 人材育成取組み

① 理念に則った支援の遂行

- ・ サービス提供現場での OJT
- ・ 相談員 MTG、職員会議で支援の振り返りと検討

② 介護事故・ヒヤリハットの丁寧な振り返り

③ 生活相談員会議、看護師会議、給食会議、職員会議の定期開催

④ サービス・業務向上委員会の実施

⑤ メンター制による中途採用職員の育成

(3) 愉しみ、張り合い、心地よさの追求取組み

① 愉しみの追求

- ・ 給食会議の定例化（毎月第2火曜日）
 - ・ 行事食や食形態の見直し等を検討。
 - ・ リクエストメニューの実施（6月）
 - ・ 栄養部主催の味噌づくり（5月）、糠漬け対決（11月）
- ・ 援農活動（育苗、水やり、苗植え、草取り、収穫、調理、試食会など）
 - ・ 保存食づくりと援農収穫物の調理や試食

- ・梅シロップづくり（5月）
- ・赤しそジュース作り、らっきょう漬け、梅干し作り（6月、7月）
- ・漬物作り
- ・かりんシロップ作り（11月、12月）
- ・大根餅作り、みかんジャム作り（2月、3月）
- ・コロナ禍での三密回避を踏まえた活動の工夫
 - ・活動場所の分散
 - ・壁掛け用大型スクリーンの使用
- ②張り合いの追求
 - ・多世代交流（道草市10月への出店・参加）
 - ・保育園との交流（小金井保育園、しんあい保育園、しんあいのぞみ保育園）
 - ・認知症進行予防の取り組み立案と実施
 - ・脳トレーニング 「脳を鍛える学習療法」
 - ・回想法「よい聴き手であり続けるために」
- ③心地よさの追求
 - ・ブルーレイ/DVDレコーダー購入（5月）
 - ・グリストラップ清掃（年4回）
 - ・リハビリ用ゴムボールの購入（3月） 「
 - ・洗面台の修理（2階・3階）（3月）
- ④重度障害・医療ニーズの高い認知症高齢者、看取り支援
 - ・重度介護が必要な方や看取り介護が必要な方の積極的受け入れ。
 - ・経管栄養、痰の吸引、在宅酸素、褥瘡処置
 - ・看取り支援（医療と多職種連携、食事摂取方法の検討、家族支援）
 - ・食形態（特食）食事摂取方法の検討（栄養部と連携）
 - ・在宅医療、介護サービスとの多職種連携（MCSの活用）

2) 安全と安心の提供

(1) 食の自立支援事業（配食、活動会食会、いっぷくカフェ、食の自立第三者委員会など）

①配食サービス

- ・配達日：日曜・祝日・年末年始（12/29～1/3）を除く平日
- ・利用日：月水金または火木土の週3回以内
- ・対 象：下記ア、イの要件を満たし且つ包括支援センターの調査訪問結果で市の承認を得た方
 - ア：介護保険サービスを利用している方
 - イ：「ひとりぐらし」もしくは「高齢者世帯」、「その他の世帯」で食材の調達・調理が困難で、定期的な見守り支援が必要な方
- ・利用数：定員は80食/日。実績は平均82食/日。

②いっぷくカフェ

- ・開催頻度：月1回
- ・内 容：閉じこもり防止のきっかけづくりとして外出機会をつくる。昨年より新型コロナの感染対策をおこなって活動を再開しており、今年度も蔓延防止措置期間以外は実施した。
- ・対 象：食の自立支援事業配食サービスご利用者様から選定
- ・実施時間：14時～15時
- ・参加人数：5名～6名
- ※開催が出来なかった1月～3月は電話によるモニタリングを実施した。

③食の自立第三者委員会

- ・ 目的：食の自立支援事業（配食、いっぷくカフェ、活動会食会など）が、事業の目的にあって提供し機能するよう社会福祉法人聖ヨハネ会では第三者委員会を独自で設置した。
- ・ メンバー：第三者委員（配食ボランティア、元民生委員、いっぷくカフェボランティア、地域の代表、「みんな愛ネット」メンバー）、オブザーバー（小金井市介護福祉課）、栄養部（係長、食の自立支援事業コーディネーター）、センター長
- ・ 開催頻度：年1回（11月開催）
- ・ 内容：食の自立支援事業の実施状況報告をおこない、市担当係長が新任、新しい第三者委員もいた為、提供している配食を試食していただいた。今回から委員の方が2名交代になっている。

※ 例年では第三者委員会は年2回の開催であったが、新型コロナの感染状況や蔓延防止措置を踏まえて1回のみの開催となった。

④食の自立担当者会

- ・ 日時：2021年5月（1回実施）
- ・ 内容：高齢福祉課の係長が異動になり、新任の方になる。また、食の自立コーディネーターも着任したばかりであった為、ご利用者様の近況報告と併せて顔合わせを行った。

(2) 自衛消防隊活動

①自衛消防訓練の実施・報告

- ・ 内容：避難訓練（年6回）、通報訓練、web171訓練（年4回）消火訓練（年2回）
毎回計画書と報告書を消防署に提出している。
- ・ 参加者：デイサービス職員、栄養部職員

②高齢部門防災員会（毎月第1水曜日 14時半～15時）

- ・ 各施設防災訓練報告
- ・ BCPに必要な初期対応マニュアル、緊急連絡網、備蓄品などの整備・更新状況の確認

③普通救命講習受講

- ・ 受講者なし

④救急医療災害支援情報キット申請窓口の継続

(3) 建物設備

- ・ 火災警報器、誘導灯交換工事（4月）
- ・ ガステーブル着火不良修理（5月）
- ・ ブルーレイ/DVDレコーダーの購入（5月）
- ・ 配食車両入替・中古車3台購入（5月）
- ・ 配食車3台にドライブレコーダー設置（5月）
- ・ 認知症デイフロアの湯飲み購入（6月）
- ・ 2階ダイルールの空調機（2機）修理（8月）
- ・ 介護保険ソフトの更新（10月）
- ・ 送迎2号車（多摩800そ1463）ギアボックス交換修理（10月）
- ・ 厨房ガステーブルバーナー交換修理（11月）
- ・ EVバッファ台錆落とし・再塗装修繕（11月）
- ・ 災害時移動用具（キャリダン）購入（2月）小金井市より
- ・ 車椅子用デジタル体重計購入（2月）小金井市より
- ・ リハビリ用ゴムボールの購入（3月）

- ・2階、3階ダイルーム洗面台修理（3月）

（4）感染症予防取組み生

①感染症対策委員会、安全衛生委員会の活動

- ・感染症研修の開催（6月：食中毒予防 自施設研修）
- ・感染症シュミレーション研修開催・参加（自施設研修）
- ・ノロキット配備（車輦・建物）
- ・次亜塩素消毒薬による建物設備消毒実施
- ・ノロキット用塩素消毒薬の毎日交換実施
- ・メディカルマスクの購入配布（職員ならびに利用者が必要時配布）
- ・インフルエンザ予防接種・検便検査実施

②感染症予防環境対策

- ・エタノール手指消毒液（濃度75%以上）の確保
- ・アクリル板の設置（霞会館からの寄付）
- ・自動手指消毒・検温器の玄関フロア設置（霞会館からの寄付）
- ・簡易式PCRキットの購入
- ・入館カードの記入
- ・送迎検温表の作成実施
- ・新型コロナ感染症予防対応マニュアル（通所介護編）の更新
- ・害虫防除作業委託（6月～9月）
- ・朝礼時の注意喚起（健康チェック、マスクエチケット、手洗い、手指消毒、うがい）
- ・入館ルールの徹底（手指消毒薬の配備と案内掲示）
- ・抗原定性検査キットによる「東京都集中的検査」の実施（2月～3月）

（5）事故等発生状況

①労災事故

- ・なし

②介護事故

- ・なし

③ヒヤリハット

- ・36件

④車輦事故

- ・自損事故4件

⑤苦情

- ・なし

⑥配食車輦の整備

- ・配食車3台の入替・ドライブレコーダー搭載の完了

⑥職員の新型コロナウイルス感染

- ・1月下旬厨房職員2名が新型コロナウイルスに感染
- ・1/21～2/1までデイ利用者昼食と小金井市配食は桜町高齢者在宅サービスセンターにて調理・準備する。

3）地域との共生

（1）認知症に強い街づくりへの取組み

①みんなの安心ささえ愛ネットワーク

- ・定例会：毎月第3月曜日14時30分～16時（コロナのためWeb会議に変更し実施）

②認知症を支える介護者の集い

- ・開催日：毎月第一土曜日 13時30分～15時
- ・内容：認知症を支える在宅介護の経験を分かち合い、学び、気づきを得て、家族介護や自分自身と地域の今後に活かしていただく。
- ・対象：当センターにおける家族会は、家族介護者に限定せず、地域で認知症の方の在宅介護の支えとなっている方、支えになりたいと考えている方、認知症サポートに興味関心のある方が自由に参加できるよう門戸を開いている。

※今年度の介護者の集いは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため緊急事態宣言及び蔓延防止重点措置が出されている期間（5月～9月、2月～3月）は「電話・メール」相談に切り替え実施した。それ以外の月は会場にて実施。

- ・開催回数：12回（4月～3月）
- ・参加人数：延べ12名
- ・電話相談件数：20件

③認知症デイサービス運営推進会議

- ・今年度の認知症デイサービス運営推進会議は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため市ならびに関係諸機関とも相談のうえ中止といたしました。

(2) こがねい介護教室（家族介護者教室）

- ・日時：11月13日（土）13時30分～15時00分
- ・テーマ：「自宅での転倒予防について」
- ・講師：瑠璃川 多枝子（福祉用具専門相談員）
- ・参加者：7名（職員除く）

【施設整備状況】

(1) 概況説明

1998（H10）年10月開設から23年が経過。開設当初の設備備品は部品供給が終了しているため修理不能のため入替が必要な状況。昨年度より引き続き危機的状況にある設備備品は、①1・2階システム冷暖房空調設備（GHP）②屋上防水シート③エレベーター④屋上給水ポンプの4か所である。

当センターは市の指定管理委託施設で、福祉二次避難所でもある。被災時に建物設備の不具合から事故など二次災害が発生すれば市民に大きな不安を与えかねない。そのため、今後も日頃から市と連携しながら建物設備の更新は計画的にすすめてゆく。

(2) 固定資産購入

- 令和3年5月 配食用軽自動車3台購入 2,439,210円

(3) 主な修繕・設備入替

①本町C対応

- 令和3年5月 火災警報器、誘導灯交換工事 72,468円
- 令和3年8月 2階ダイルームGPS空調機2基修理 245,388円
- 令和3年10月 送迎2号車（多摩800そ1463）ギアボックス交換修理 116,930円
- 令和3年12月 玄関照明器具交換 29,645円

②小金井市対応

- 令和3年11月 EVバッファ台錆落とし・再塗装修繕 90,200円
- 令和4年2月 災害時移動用具（キャリダン）購入 396,000円
- 令和4年2月 車椅子用デジタル体重計購入 247,500円

【その他特記事項】

(1) センター長の退任・新センター長の就任および管理者の変更

- ・2/28 付で前センター長が退任し、新センター長として鈴木治実（桜町高齢者在宅サービスセンター長兼務）が就任
- ・3/1 付で通所介護（一般デイ）の管理者を長津宏史に変更
- ・3/1 付で認知症対応型通所介護の管理者を市村直子に変更

(2) 介護保険調査・変更届出関係

- ・2021年4月介護報酬改定にともない「介護給付費算定に係る体制等に関する届出」の提出（東京都、小金井市）（4/1 付）
- ・理事長変更届（6月）
- ・法人本部住所地変更にとまなう届出（東京都、小金井市）（9月）
- ・指定居宅サービス事業者等の運営状況等確認検査（書類検査）提出（10月）
- ・介護サービス情報公表訪問調査（2/21）
- ・通所介護（一般型デイ）管理者変更に関する届出（東京都）（3/1 付）
- ・認知症対応型通所介護管理者変更に関する届出（小金井市）（3/1 付）

【事業状況】(利用実績集計表・利用率の推移)

事業別 2021(R3)年度 利用実績集計表 2021年4月～2022年3月 本町高齢者在宅サービスセンター

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計		
介護	通所介護・一般 日数	26	24	26	27	26	26	26	26	25	24	24	27	307		
	23名/日 定員	介護給付 (23人想定)	598	552	598	621	598	598	598	598	575	552	552	621	7,061	
		新規	7	2	0	0	0	2	2	4	1	3	0	2	23	
		終結	3	2	2	1	2	0	1	3	2	5	2	3	26	
		登録数	63	64	63	61	58	60	61	63	62	56	58	60	-	
		実利用者数	63	64	63	61	58	60	61	63	62	56	53	53	-	
		延利用者数	570	559	581	608	581	574	582	575	558	477	451	534	6,650	
		人数/日当	21.9	23.3	22.3	22.5	22.3	22.1	22.4	22.1	22.3	19.9	18.8	19.8	22	
		利用率	95.3%	101.3%	97.2%	97.9%	97.2%	96.0%	97.3%	96.2%	97.0%	86.4%	81.7%	86.0%	94.2%	
		予防給付 (2名想定)	新規	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
			終結	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	登録数		3	2	2	1	2	2	2	2	2	3	3	3	-	
	実利用者数		3	2	2	1	1	2	2	2	2	3	3	3	-	
	延利用者数		14	10	9	8	8	10	13	11	12	15	14	15	139	
	人数/日当		0.5	0.4	0.3	0.3	0.3	0.4	0.5	0.4	0.5	0.6	0.6	0.7	0.5	
	利用率	26.9%	20.8%	17.3%	14.8%	15.4%	19.2%	25.0%	21.2%	24.0%	31.3%	29.2%	32.6%	22.6%		
	小計	延利用者数	584	569	590	616	589	584	595	586	570	492	465	549	6,789	
	利用率	89.8%	94.8%	90.8%	91.3%	90.6%	89.8%	91.5%	90.2%	91.2%	82.0%	77.5%	81.3%	88.4%		
事業	通所介護・認知症 日数	26	24	26	27	26	26	26	26	25	24	24	27	307		
	12名/日 定員	新規	4	0	1	2	0	1	3	2	0	3	0	0	16	
		終結	1	2	0	0	0	2	2	3	1	0	0	2	13	
		登録数	28	26	27	29	28	27	28	29	28	31	31	31	-	
		実利用者数	26	26	27	29	28	26	27	28	28	29	29	26	-	
		延利用者数	274	261	279	276	272	257	215	228	235	225	240	261	3,023	
		人数/日当	10.5	10.9	10.7	10.2	10.5	9.9	8.3	8.8	9.4	9.4	10.0	9.7	9.8	
		利用率	87.8%	90.6%	89.4%	85.2%	87.2%	82.4%	68.9%	73.1%	78.3%	78.1%	83.3%	80.6%	82.1%	
		通所介護合計	実利用者数	92	92	92	91	87	88	90	93	92	88	85	82	-
		延利用者数	858	830	869	892	861	841	810	814	805	717	705	810	9,812	
		※通所介護全体利用率	89.2%	93.5%	90.3%	89.3%	89.5%	87.4%	84.2%	84.6%	87.0%	80.7%	79.4%	81.1%	86.4%	
	家族介護者教室	回数	/	/	/	/	/	/	/	/	1	/	/	/	1	
		利用者数	/	/	/	/	/	/	/	/	7	/	/	/	7	
	認知症高齢者家族交流	回数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	
		利用者数	1	2	2	3	4	3	5	4	2	2	2	2	32	
	食の自立支援事業	食の自立支援事業 日数	25	23	26	25	25	24	26	24	24	23	22	26	293	
		80人/日 定員	①②③⑤ 延食数	2000	1840	2080	2000	2000	1920	2080	1920	1920	1840	1760	2080	23,440
			利用率	104.4%	102.8%	101.8%	103.5%	100.1%	102.4%	103.3%	103.9%	104.7%	102.4%	104.4%	103.3%	103.1%
①配食サービス			登録数	207	197	200	202	201	204	203	206	208	207	201	199	-
実利用者数		185	178	183	181	174	178	181	180	185	180	181	180	-		
延食数		2082	1887	2113	2066	1997	1964	2144	1990	2008	1871	1829	2148	24,099		
食/日当		83.3	82.0	81.3	82.6	79.9	81.8	82.5	82.9	83.7	81.3	83.1	82.6	82.3		
利用率		104.1%	102.6%	101.6%	103.3%	99.9%	102.3%	103.1%	103.6%	104.6%	101.7%	103.9%	103.3%	102.8%		
②緊急配食		実利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	3	
		延食数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	3	0	11	
③活動会食サービス		回数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	
		延利用者数	5	4	5	4	5	3	4	4	3	5	5	5	52	
④栄養マネジメント (自立推進クラブ)		回数													0	
		延利用者数													0	
⑤調査・ケアプラン		新規・継続	12	8	13	11	6	12	11	10	11	16	8	6	124	
		高年齢見守りサービス	実利用者数	6	3	1	3	0	1	2	4	2	2	1	2	27
独自事業		パーチャタイム(自費)	延利用者数	11	6	1	3	0	1	4	4	2	4	6	9	51
		日常生活支援	実人数	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	
	(各種相談対応等)	延人数	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1		
	ボランティア活動	実人数	7	0	6	7	0	0	12	16	19	7	0	0	-	
	延人数	19	0	7	9	0	0	27	40	40	11	0	0	153		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計		

3. 医療部門

I 桜町病院（生計困難者の為に無料・低額な料金で診療を行う事業）

I 事業概況

コロナが治まる気配が見えない中でのスタートとなった 2021 年度、病院内でのコロナ感染がおこらないよう細心の注意をもって感染防止対策を講じてきている一方、感染を恐れる患者さんの受診抑制が依然として続いており、若干の戻りはあるものの、患者が以前の状態とならない状況が年度を通して続いてしまった。そんな中で、幸いなことに、職員の院内感染がなく経過してきたことは大変喜ばしいこと、貴重なことで職員の感染対策励行の結果であると感謝している。

難しい病院経営を更に難しくしたコロナ感染拡大、2 年続けて大きな赤字経営となったことから、今年度も聖ヨハネ会や修道会の支援を得ながらまた、増患が厳しい中でも増収を図り経営を上向きにするために、導入までの長い検討を経てようやく 2021 年 2 月に導入したコンサルタントの支援を受けながら運営してきた。コロナのパンデミックという状況下では患者確保は厳しいが、増収努力を継続してきた。結果的には患者の減による減収を補うまでにはいかなかったし、コンサルタントの導入によりこれだけの導入効果があったと数値で示すことはできないが、データに基づく病床運用等新たなノウハウも残すことができた。しかしながら、この取り組みをもってしてもコロナの影響が大きく欠損を計上してしまった。

2021 年度は次の運営方針の下に運営してきたが、コロナ禍により経営の健全化、地域連携の拡充など目に見える進展をさせることはできなかった。

<2021 年度の運営方針>

1. 経営の健全化、安定経営に向け傾注する

病院が置かれている状況を職員と共有し、経営改善会議を機能させてコンサルタントを活用した増患策・増収策・支出削減策を着実に遂行し、確実な成果を上げる。

2. 質の高い安全で患者満足度の高い医療を実践する。

“桜町マインド“で患者満足度の高い医療の提供を続ける

3. 地域の医療機関等との連携の拡充を図る

当院生き残りの鍵である地域医療連携の拡充を図る。

4. 管理機能の充実

様々な管理機能を適切効果的に運用し、円滑な病院運営を図る。

5. 満足度高い職場作りに努める

厳しい病院経営環境にあるが、職員が働く楽しさとやりがいを持てる職場環境作りに努める。

1 2021 年度の運営状況

(1) コロナ対応とコロナの経営への影響

終息の目途がつかないコロナ感染症、今年度もコロナはデルタ株からオミクロン株へと感染拡大を繰り返し、年度末には第 6 波の収束を待たないまま、第 7 波かとも見まがうような感染再拡大の状況に入りつつある。

2021 年度もコロナ感染は治まることなく経過した。感染拡大に合わせ発令された緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の適用期間は、秋を対象を外れた時期はあったが、年度

のほとんどの期間が発令対象となり、それに合わせ患者さんの受診抑制が働き患者さんの少ない状況が続いた。年度を超えてもその状況に変化はない。

参考：東京に緊急事態、まん延防止発令期間

(防) 2021/4/12～4/24、(緊) 2021/4/25～6/20、(防) 2021/6/21～7/11、

(緊) 2021/7/12～9/30、(防) 2022/1/21～3/21

この間、患者さんに安心して受診していただけるように、可能な限りの感染対策を講ずると共に、2021年度も密を避けるための人数制限や工夫、面会の禁止、分娩時の立会いの制限等病院を利用される方には利用しにくい方策も取らざるを得ない状況となった。一方、限られた体制の中で発熱外来を継続してきたことや市民のコロナワクチン接種を実施しコロナ感染拡大防止に尽力してきた。当院は感染症や救急を想定した構造・設備が整備されているわけではないので、これらの方策は、活用できそうな施設を工夫してのコロナ対応となっている。

コロナも3年目となりコロナに関する知見が深まりつつあるが、コロナによる影響は、内科や小児科などの患者さんの受診抑制に止まらず、妊婦さんの総合的病院離れ、すなわち様々な疾患の患者さんがいる病院ではなく産科単科クリニックを希望するケースが見られる等への影響も出ている。

(2) 経営状況と経営改善

コロナ感染症がどのようなものか少し分かってきたものの、2021年度も感染を恐れるあまり受診抑制が続いてきたことにより、特に5月、6月は患者の落ち込みが著しく大きな減収となった。年度後半には、ワクチン接種を受けた方の数が増えてきたこともあり、また、近隣大規模病院ではコロナ患者を受け入れる体制を充実することから、当院等で受け入れることができる一般患者の紹介を積極的に行ったこともあり、特に入院は80%近くまで患者収容を行うことができた。

(5月：入院131.5人 外来264.8人、6月131.3人 外来：272.0人)

この間、患者増が難しい中であって、コンサルタントの支援を受けながら、増患策、増収策を講じつつ経営改善を進めてきた。すなわち、当院紹介用のリーフレットを新たに作成して近隣医療機関や消防機関に配布するとともに、一部のクリニックには訪問して患者紹介の依頼を行うなどの渉外活動を拡充したこと、データに基づく効率的なベッドコントロールを行ったこと、南3階病棟の一部病床を地域包括ケア病床に転換(2021年2月)して運用したこと等により、集患が厳しい状況下にあっても増収につなげる努力を継続した。

(コンサルタント契約は2021年2月から2022年1月までで終了)

また、2020年度に策定した経営改善計画を経営改善会議において進める中で、3つのグループが①病床や診療科の在り方、②長年の課題である南2階病棟の病床運用の方策、③支出削減策について検討し、一定の方向性を出すこととした。

①と②については、これまで手を付け得なかったところや困難としてきたところでもあり、期待しながら結果を待ったが残念ながら抜本的な結論を得ることはなかった。この方策を検討し方針を示し取り組んでいくことは、当院経営上の重大な課題と認識している。引き続き検討していくことが重要であると考えている。③については、医師の効率的配置、共

同購入参加による費用削減、超過勤務削減の取り組み等を提議し、若干ではあるが支出削減を図りつつある。

経営改善計画には未達成の項目があるので、着実に実践し経営改善につなげていくこととしている。

(3) 診療体制

病院を運営する上で医師始めスタッフの体制が整うことが重要であることは言うまでもない。特に医師は診療の原動力としての役割を担っていることから、チームとして医療を展開していく上でも、その体制が整っていることが、期待される医療を展開する上での前提である。当院の医師の体制としては、領域によっては十分に体制が整っているとは言えないところはあるものの、診療科や診療領域によっては医師の数が多すぎる、従って人件費を押し上げているとの認識を持っている。このため支出削減対象分野として経営改善計画にも掲げて削減に向けて取り組んでいるところである。

2021年度は当院において収入の多い3つの診療科に医師の体制に変更があった。内科は2019年度に医師が退職後採用補充できなかったが、ようやく2021年4月に1名、7月に1名の医師を採用補充することができた。2019年度以降、診療体制を縮小し、また検診・ドック等を制限してきたが、一応の体制はできたと考えている。ただし、今年度はコロナを意識した実施により規模を縮小せざるを得なかった。また、7月に療養病棟を担当していた常勤医師が非常勤となったために、療養病棟をも内科医師が受け持つこととなった。そんな中、年度末に内科医師1名が退職した。採用補充に努めている。

整形外科は常勤医師を1名増員し、大きな増入を期待したが、患者が計画数に届かなかったこと、施設構造的にまた体制的に手術数が上限近くになっていることから、診療科としては想定した増収とはならなかった。

産婦人科は、手術や分娩件数が減少している中であるが、長年、副院長として大学との関係はじめ診療科を取り纏めてきた医師が常勤から非常勤に転換したほか、派遣大学の意向により部長が交代した。産婦人科では部長が近隣クリニック周りをして手術や分娩件数を増加する努力をしてきたが、それぞれの減少傾向を止めるまでにはならなかった。

医師以外の職種については、看護師、看護助手、薬剤師、理学療法士、作業療法士、調理師等常時採用募集しているが採用が進まない。これらの採用・補充の難しい職種については、診療に支障をきたさないよう努力を続けている。

以下、2021年度に予定した事項の中から幾つかの項目の実績を報告する。

1) 無料低額診療

当地域は無料低額診療事業の対象者の大半を占める生活保護の患者が少ない地域であり、また、2017年度から社会福祉法人立の病院が税の恩恵を受ける無料低額診療基準が国基準の厳しい基準となり、この事業の対象者が狭められたため、恩恵を受ける基準10%という基準に達することができず、固定資産税等の免除を全面的に受けることができなくなった。

2021年度もMSWを中心に対象者の確保に当たったが、実績6.392%という結果に終わった。

2) 地域医療連携

地域医療連携を拡充することが、当院生き残りのカギとなることについては随所で申し上げているところであるが、コロナは連携の促進にブレーキとなっており、顔の見える関係作りが進められない状況にある。一方、武蔵野赤十字病院ではコロナ患者の診療を充実させるために、一般患者で地域の医療機関で対応できる患者を紹介する意向を示され、積極的に紹介してきた。また、4月から国分寺医師会から国分寺市民の乳がん検診の要請を受け、初年度であるが250人を上回る方に受検していただいた。(参考：小金井市民300人強、小平市民200人弱。)

集患も兼ねた市民講座の開催はできなかったが、周産期を主とした情報発信として、4月にInstagramを開始した。栄養科に加え途中からリハビリ科も情報提供に加わり、担当者の尽力によりこれまで週2件以上のペースで情報をアップしている(2021年度末128件)。ホームページを補うきめ細かな発信ツールとして有効に活用されていると考えている。

3) 地域包括ケア病棟、病床

地域包括ケア病棟、病床は、在宅への橋渡しの病棟としてその役割を果たしつつあることには変わりはないが、2021年2月に南3階病床の一部を地域包括ケア病床に転換した病棟とともに、効率的なベッドコントロールにより増収を図ってきた。一方、南3階病棟から地域包括ケア病棟(北4)への患者異動が少なくなったことから、在宅復帰率基準の維持を意識した運用に従来以上に気を使いながら活用していかなければならなくなった。幸い2021年度は当院ではコロナワクチン接種を行っているために、診療報酬上の特例措置があり在宅復帰率を気にすることなく患者を入院させることができた。

2020年度には北4階病棟は在宅復帰率78.8%、南3階病棟の病床は開設したばかりということもあり85.0%と高率であり、基準の70%を優に超える率であった。しかしながら、今年度は、直近6ヶ月で北4は67.5%、南3は74.7%となっている。北4の率が基準を下回っている。

2022年度から診療報酬改定により基準が72.5%に上がる。病棟、病床の在宅復帰率を維持していくことを念頭にした病床の在り方の検討や病床運用が今後の課題である。

4) 在宅診療

平成30年度にスタートした当院の在宅診療は、がん患者に特化した在宅診療という特色がある。自宅で療養を希望するがん患者さんのニーズに応えながら入院が必要な場合にはホスピス病棟等への入院を可能とする仕組みの中で運用している。2021年度は武蔵野日赤等との連携により、3ヶ月105件の実績を上げている。

5) 認知症疾患医療センター

認知症疾患センターは指定を受けて7年目、これまで鑑定診断実績は昨年度一時的に減少したが、今年度は増加に転じた。相談業務(総件数6,934件、前年度比▲317件)は

横ばい実績と言えるが、コロナ禍にあり電話相談が増加している。一方、コロナ禍にあり地域の認知症に関するサポート体制の拡充などに寄与する取り組みとしての認知症サポーター研修、認知症認定看護師との連携による認知症講座、スタッフ養成講座への講師派遣、地域連携会議開催などについてはコロナ禍の影響により実績は少ない。

6) 産後ケア事業、病児・病後児保育室

2020年10月開設の授乳や育児に不安があるが、ご家族などからのサポートが充分受けられず困っている方を支援する産後ケア事業や2019年11月開設の病気のために幼稚園や保育園に通えない児童の保育を行う病児・病後児保育室は、何れも小金井市からの委託を受けて開始した事業である。

産後ケア事業は徐々に利用者が増え2021年度は延べ109人の方が利用された。2022年3月からは武蔵野市民の利用も始まった。整備した病室を効率的に活用できるように利用される方が利用しやすい環境の整備に努めている。

病児・病後児保育は2021年度までの登録者数は227人となっているが、コロナ感染症が拡大する中で利用を躊躇していることもあってか利用者は8人となっている。

7) オンライン資格確認

病院では保険資格の確認作業を行わなければ適切な診療費の請求業務を行うことができない。当院では一部の確認作業を会計時に行っている。このことは待ち時間の延長に繋がっているという患者サービスの問題と共に適正な資格での診療という重要な問題も抱えている。

現在、国主導のマイナンバーカードの普及促進策の一環として、マイナンバーカードに保険証機能を取り込み、オンラインにより資格確認をするシステムが稼働している。当院もこれに参加するために手続きを終え、2022年3月21日から運用を開始している。全国でのマイナンバーカードの普及率が40%程度という中での事業展開であることもあり、当院においてこのシステムのための保険証登録を済ませた数は極わずかと承知している。

この仕組みが順調に運用されることとなると、病院としては保険証確認作業がなくなるとともに、保険証の不備によるレセプトの不備返戻がなくなることとなり、そのメリットは大きい。保険資格確認の不完全さやわずらわしさの問題を解消するためにも、より多くの患者さんがこのシステムの利用ができるようマイナンバーカードを取得され保険証登録されることを期待している。

8) 職員採用と育成・配置

*採用と配置

採用環境にあまり変化はない。診療体制で説明したが、採用が進まない職種は薬剤師、看護師、看護助手、作業療法士、調理師などである。看護助手や調理師の応募はほとんどない状況が続いている。

長いこと補充出来なかった内科医師は、4月と7月に採用補充することができた。しかしながら、コロナが治まらないので、平常の診療体制や健診体制を築くまでには

至っていない。

*計画的人材育成と教育研修支援

今年度も4月の教育研修委員会において、病院として行う必要のある研修については、月別の年度研修計画を策定したが、コロナにより感染防止対策に係る研修や一部のWeb研修等を除きほとんど集合研修会を開催できなかった。外部研修参加についても、Zoomによる研修などの参加はあったが、出張しての研修への参加は少なかった。

*労働環境の整備

コロナという極めてやっかいなしつこい感染症対応に当たる職員に、この経営状況にあって賃金面で報いることができないやせなさを感じている。そのような状況にはあるが、少しでも働く上での満足感を持ってもらえるように、提案制度や相談窓口を設け、また、職場の意見を吸い上げる仕組みも設けているが、これらもコロナで十分に機能させられていない。一方、安全衛生を保持するために、安全活動や衛生活動等で把握した事項の改善とともに、定期健康診断、ワクチン接種、ストレスチェック等により最低限の健康管理に努めている。また、有給休暇5日以上取得は定着し、赤字部門である保育所や職員食堂の運営維持等福利厚生施設の運営も継続している。運営の状況を幾つかに絞って説明したが、今年度も緊急事態宣言やまん延防止等措置が、秋の一時期を除き出され続けられているうちに年度を終えることとなり、2020年度に比べると若干の患者数の増加を見たが、今年度も平常年度と比べると7~8割程度しか患者数を計上することができない年度となってしまった。

次に、数値計画の達成状況について説明していく。

II 数値計画の達成状況

1 収入

収入が上がらなければ経営改善は望めないとの強い思いはあるが、秋にコロナが治まりかけた時期を除き年中緊急事態宣言やまん延防止等措置が発令されていたために、患者の受診抑制が強く働き、特に5月6月等は患者が激減してしまった。このため年度後半に入院は患者数回復が見られたが、当初計画に比し平時の9割ほどとなり、収入は8.5%下回ってしまった。

収入は当初計画に対して入院で▲191百万円、外来で+12百万円となっている。入院外来合わせて昨年度比で、内科が+105.8百万円、小児科が+26.2百万円、ホスピス科が+14.7百万円、外科が14.3百万円、整形外科+11.3百万円等と最悪となった昨年度よりは増収となった。一方、唯一、産婦人科が▲62.0百万円と昨年度をも下回ることとなった。

<事業活動収入(資金収支計算書)>

事業活動収入計画額3,286百万円に対し実績は3,271百万円と▲15百万円の減収となっている。4月以降各月ともに実績が計画を下回り計額減となった。診療収入の他、ドック・健診収入の減も大きい。入院収入は計画に対し▲4百万円、外来収入は計画に対し▲11百万円、ドック・健診収入は計画に対し▲19百万円という状況である。

(1) 患者数

入院 予算作成時にはコロナの感染状況や収束時期について不明であったが、コロナが終息しないとは思わなかったために、年度計画は平年度実績並みの157人/日と計

画した。しかしながら、今年度もコロナが治まるどころか秋の時期を除き年中緊急事態宣言などが発令されている状況から受診抑制により患者数は計画数に対し大きく下回る結果となった。特に、5月、6月は1日当たりかろうじて130人台であり、前期は140.2人/日しか計上できなかった。後期は10月から12月までは発令が解除されたこと、武蔵野日赤病院がコロナ対応拡充方針を出され軽症患者等の紹介を進めたこともあり、当院も徐々に患者が増え、11月から2月までは150人台を維持し、3月も150人まであとわずかという状況となった。後半は10月が患者が少なかったが150.7人/日と前半より1日当たり10人ほど多くなった。

全科では計画比▲11.6人/日、昨年度比+4.0人/日、診療科別に見ると内科が計画比▲1.8人/日、昨年度比+3.0人/日、整形外科が同▲0.7人/日、同+1.0人/日、産婦人科が同▲4.2人/日、同▲4.7人/日、療養が同▲1.9人/日、同+0.7人/日となった。

外来 外来はコロナの影響が顕著であり、ワクチン接種が進んだこともあり、外来患者は増加傾向にはあるものの、計画に対し▲79.1人/日、昨年度比+15.8人/日となった。前半279.7人/日、後半305.6人/日。

内科は計画比▲23.2人/日、昨年度比+10.9人/日となったが、小児科は計画比▲34.4人/日、昨年度比▲1.35人/日と若干の戻りはあるものの、依然受診抑制が著しい。

(2) 手術件数

計画手術件数は、月80件以上の目標に対し実績は72.0件となっており、計画比▲8.0件、昨年度比では+0.7件。整形外科や眼科は順調に経過しており、それぞれ1件ほど昨年度を若干上回っているが、産婦人科の手術数の減少があり、昨年度比▲3.2件/月と今年度も30件台となった。産婦人科は分娩件数の減少と合わせ懸念すべき状況にあると考えている。眼科は2022年度から月に毎週手術を5~6件の手術を行う方針を示しており、昨年度を上回る実績となっている。

(3) 分娩件数

分娩は249件、月20.8件となっており、昨年度に比べ月4.7件減少している。少子化傾向に加えコロナ禍での出産数が減少していること、コロナ禍にあり様々な疾患を扱う病院から分娩の単科クリニックを希望される妊婦さんもあり当院の分娩数は、このところ毎年度前年度比50~60件減少している。前年度の一昨年度比▲54件に続き今年度も前年度比の▲57件となった。この減少は収入額の減少の大きな要因の一つとなっている。

この減収額を他の診療等で補充して行くことは直ちに見い出せないが、当院での分娩利用を増やすために産婦人科部長が近隣医療機関に挨拶回りをすることや2020年10月開設した産後ケア事業ほか、これまで行ってきた妊婦検診、母親学級、まなざし、助産師外来、そして今年度から始めたインスタグラムの情報発信など周産期支援環境を整えることにより、当院の分娩数が下げ止まり、回復することを切に願うところである。

(4) ドック・健診事業

2021年度の外来ドックは517件（月平均43.1件）となり、前年度比+123件となった。また小金井市民検診は1,631件と昨年度比+525件と回復基調にある。ただし、

外来ドックは構造的な問題から密を避けるために人数を抑えて実施したこと、検診は医師の体制の問題もあり、実績として昨年度を上回ったものの、平年度の実績には程遠い状況に。ここにもコロナの影響が出ている。

(5) 診療単価

入院 診療単価 38,475 円は計画を 478 円、昨年度を 654 円下回っている。

内科は 31,414 円と計画を 1,067 円、昨年度を 1,321 円、整形外科は 46,616 円と同じく 66 円、753 円、産婦人科は同じく 1,524 円、916 円、眼科は 88,707 円と同じく 19,196 円、13,152 円下回っている。眼科や産婦人科は計画を大きく下回った。両科ともに手術の種類により診療単価は大きく変動する。内科を除き全体的に単価は下がった。

外来 8,405 円と計画比+1,121 円、昨年度比+948 円となっている。主な要因は発熱外来時の検査料や訪問診療の実績が外来全体の診療単価押し上げているものである。検査料によるアップはあるものの委託検査費用の支出が大きいことを付言する。

2 支出

経営改善にあたっては、収入を増加することが最も効果的な改善につながることは理解しているものの、一方の支出を削減することも大事な取り組みと考えている。

支出については、従来からの「収入見合いの支出」の方針の下に、診療に伴い消費するものや老朽化により使用できなくなったものの更新を除き、昨年度同様、機器整備・修繕等についても、緊急整備を要するものを除き整備を控えた。収入が上がらないために今年度も従業員組合の理解を得て賞与を大幅に削減させてもらった。また、効率的な医師の配置の観点から非常勤医師の削減を行った。経営改善会議の支出削減グループでは、あるグループが主導する診材の共同購入に参加し一部診材の価格削減をなし得た。更にまだ改善効果は確認できていないが、改めて業務の整理や実施方法の工夫をすることにより、超過勤務を削減するよう促した。

ジェネリック医薬品は安価であることから経費削減を図る上でその採用を拡大することには大きなメリットがあるが、ジェネリック業界の不祥事から流通が混乱し採用を進めることが難しくなっている。混乱が落ち着くまでは残念だが採用拡大は難しい。

<事業活動支出（資金収支計算書）>

事業活動支出計画額 3,202 百万円に対し、実績は 3,196 百万円と 5 百万円の減となっている。計画内での支出となった主な要因は賞与支給額を抑えたことや計画した機器等の整備を見送ったことが大きい。

3 収支状況

コロナ感染が拡大し前半では 5 月、6 月、9 月が収入が音込み、8 月は退職金の高額支払いがあったために欠損となり、前半は 1 億弱の赤字を計上してしまった。後半はコロナが一時的に落ち着き入院患者が戻ってきたために大きなマイナスとはならなかったが、前半のマイナスが大きく、前年度ほどではないが大きな赤字となった。

<事業活動資金収支差額（資金収支計算書）>

事業活動資金収支差額は計画 8.4 百万円に対し▲10 百万円と計画減となっている。

Ⅲ 機器整備、施設設備改修

1 機器の整備

機器等の整備については、2021年度は、薬剤在庫管理システム、分娩台マミージョイ、ハンドル昇降式器械台（手術室）始め機器等整備費として1.59千万円を、また、リースによる購入として自動錠剤分包機、全身麻酔器などを年額0.37千円、合計1.96千万円を計画したが、入院収入や健診収入などが大きな収入減となっていることから、ほとんどの機器等の整備に手を付けられない状況にある。これまでは、コロナ実績報告等で必要となった電子カルテ端末用ソフト（34万円）や職員食堂の麺ゆで機が使えなくなったために更新（47万円）、オンライン資格確認システム（109万円、全額補助金対象）、高輝度光源装置一式（23万円）等の整備に止めた。

2 施設・設備の改修等

施設・設備の改修等においても、昨年度実施できなかった病院本館南棟大部屋のエアコンの更新（1.2千万円）と今年度が最終の処分年度となっていたPCB廃棄物処分（処分費約600万円）、樹木剪定管理（38万円）を実施した。

Ⅳ さくらまち保育所

さくらまち保育所は、常勤保育士2名、その他の勤務契約の保育士3.3名（常勤換算）の体制で1日平均保育児数5.67人の保育を行った。保育所を利用した児童実数は37人で、平日保育の他、24時間保育46回、休日保育27回を行った。

Ⅴ 桜町児童ショートステイ

桜町児童ショートステイは、常勤保育士4名の体制で、コロナ対策を行いつつ、安全確保を重視した運営をした。従来補助要員として採用して使ったアルバイト学生は感染防止の観点から採用しなかった。短期入所292人及び日中一時支援70人の支援を行った。

2015年度より学区域の市にあたる小金井市、武蔵野市、小平市、西東京市による4市連携での支援は今年度も継続され、安全な通学支援をはじめとした体制作りについて保護者を含めた関係者で話し合いを行った。

Ⅵ 病児・病後児保育室（さくらんぼ保育室）

さくらんぼ保育室は、開設から3年目である。コロナの感染拡大により利用控えがあり、利用実績はほとんどない。担当職員としては、さくらまち保育所との兼務の保育士、外来看護師、小児科医師が携わっている。利用実績は延べ8人である。

Ⅶ 病院決算（資金収支計算書）概要

1. 桜町病院（拠点区分）の医療事業活動における主な科目の収支状況は次のとおりである。

（1）収入

1）入院診療収入

新型コロナウイルス感染症の拡大により年度前半は患者数も少なかったが、年度後半目標に近く患者数となり増収・増益となった。しかし、結果としては計画収入を下回った。

計画 2,059,446 千円

実績 2,055,771 千円（計画比▲3,675 千、昨年度比+29,779 千円）

2）外来診療収入

患者数はコロナが治まらず影響は外来患者数に大きく出ている。100人近い患者減少となり、収入は計画を大きく下回った。発熱外来の検査収入増の為に昨年度実績は大幅に上回った。

計画 715,977 千円

実績 705,305 千円（計画比▲10,672 千円、昨年度比+103,684 千円）

（2）支出

支出については、収入見合いの支出を言い続けており、患者数が少なかったことから診材等の材料費が計画を下回ったのは必然としても、設備投資関係費などを抑えたことにより支出計画を 5,306 千円下回った。業務委託費の増検査委託費の増によるもの。

1）人件費

計画 2,091,459 千円

実績 2,092,301 千円（計画比+842 千円、昨年度比+42,306 千円）

2）事業費

① 医薬品・診療材料費

計画 406,623 千円

実績 398,554 千円（計画比▲8,069 千円、昨年度▲18,393 千円）

② 消耗器具備品

計画 32,102 千円

実績 35,431 千円（計画比▲3,329 千円、昨年度+4,402 千円）

③ 水道光熱費

計画 49,104 千円

実績 55,051 千円（計画比▲5,947 千円、昨年度比+6,895 千円）

（3）事務費支出

① 業務委託費支出

計画 55,920 千円

実績 61,748 千円（計画比+5,828 千円、昨年度比+20,953 千円）

（3）事業活動資金収支差額

計画 83,932 千円

実績 74,403 千円（計画比▲9,529 千円、昨年度比+83,050 千円）

収入が計画に対し未達となったために、事業活動資金収支差額は減額となった。

(4) 当期資金収支差額

当初計画を大きく下回り、昨年度を下回ったものの、後期の増収により大きなマイナスではあるが、昨年度実績の半分ほどとなった。

2. さくらまち保育所（サービス区分）

保育児実数 37 人の保育を行った。3

資金収支において▲19,440 千円となった。

3. 桜町児童ショートステイ（サービス区分）

小金井市始め小平市及び近隣市 3 市の障害児の短期入所 292 人及び日中一時支援 70 人の支援を行った。

資金収支において▲6,273 千円となった。

4. 病児・病後児保育（サービス区分）

開設から 4 年目。新型コロナウイルス感染症の流行により利用実績はほとんど伸びず、8 人の利用にとどまった。

【2021 年度活動状況報告】

種別	許可病床数	患者数/日	延患者数	利用率 (2021 年度)	利用率 (2020 年度)	利用率 (2019 年度)
入院	199 床	145.4 人	53,087 人	73.1%	71.1%	74.6%
外来	—	290.9 人	85,523 人	—	—	—

平均在院日数	25.7 日 一般のみ 18.6 日 ホスピス 39.3 日 療養 331.6 日
新入院患者数	2,062 人 (前年度 1,970 人)
退院患者数	2,074 人 (前年度 1,952 人)
時間外患者数	278 人 (前年度 248 人)
紹介率・逆紹介率	紹介 15.8% (前年度 19.5%) 逆紹介 17.6% (前年度 21.5%)
手術件数	864 件 (前年度 856 件)
全麻件数	559 件 (前年度 562 件)
分娩件数	249 件 (前年度 306 件)
人間ドック件数	入院 0 件 (前年度 0 件) 外来 517 件 (前年度 396 件)

【無料低額診療】 上段：2021 年度 下段：2020 年度

1. 受診人数

新規実人数	継続実人数	実人数計	延べ受診人数
16	11	27	137
19	9	28	132

2. 診療科別件数

内科	精神科	小児科	外科	整形外科	産婦人科	眼科
55	20	2	4	11	7	38
48	24	1	11	21	3	24

3. 依頼者別件数

福祉事務所	社会福祉協議会・福祉公社	難民支援	ホームレス支援団体	他病院	その他	合計
14	26	12	0	0	85	137
29	57	14	0	0	32	132

【職 員】 2021 年度年度始め・年度末職員数及び退任・就任状況

区分	2021 年 4 月 1 日 の職員数			年間退任・就任						2022 年 3 月 31 日 の職員数		
	正職員	非常勤職員	嘱託	正職員		非常勤職員		嘱託		正職員	非常勤職員	嘱託
				就任	退任	就任	退任	就任	退任			
院 長	1									1		
副院長	1									1		
医 師	21	43	3	5	4	6	8			23	42	2
助産師	9	7		1	2	1				8	8	
看護師	79	50	2	13	18	9	13	2	1	71	45	4
准看護師	2	3					1			2	2	
看護助手	7	4	1		4	2	3	3	1	4	3	3
薬剤師	6	1								6	1	
放射線技師	6			2	1				1	7		
臨床検査技師	9	2			2	1		2		7	2	2
PT・OT・ST	12	4		1	1		2			12	3	
栄養士	6		1	1					1	7		
MSW	5									5		
事務部	19	10			2	3	4			17	12	
施 設	2		1							2		1
その他	20	23	3	2	1	2	1		1	20	20	2
合 計	205	147	11	24	35	23	32	7	5	193	138	14

注：就任・退任数には4月1日就任数及び3月31日退任数を含む

事務部の人数は（事務部長・総務課・経理・医事課）

その他の人数は（看護部長室・ORT・診療技術部助手・調理師・調理員・心理士
・保育士等）

【患者動向】

2021年度診療科別患者状況

区 分	入 院		外 来	
	一日平均患者数 (人)	一日平均診療単価 (円)	一日平均患者数 (人)	一日平均診療単価 (円)
内科	38.2	31,414	111.8	9,272
	35.2	30,415	100.9	8,284
精神神経科	—	—	30.5	6,061
			29.5	5,697
小児科	1.1	33,976	26.6	9,495
	1.6	32,426	27.9	5,131
外科	7.8	33,236	18.2	5,846
	7.6	29,803	15.9	6,362
整形外科	36.3	46,616	45.2	9,495
	35.3	47,809	41.0	8,829
産婦人科	10.8	87,675	29.8	7,462
	12.5	88,595	32.9	6,847
眼科	1.2	88,707	24.6	5,984
	1.0	101,686	22.7	5,891
ホスピス科	14.8	46,804	4.1	24,524
	13.7	46,937	4.4	25,569
ホスピス内科	1.3	34,718	—	—
	1.1	34,253		
療養	34.1	18,263	—	—
	34.4	18,155		
計	145.4	38,475	290.9	8,405
	141.4	39,129	275.1	7,562

注：上段 2021年度 下段 2020年度

【2021 年度機器等整備状況】

機 器 等 名	数量	新設・更新・増設・修繕	整備部署
コルボスコープ一式	1	更新	産婦人科
高輝度光源装置一式	1	更新	産婦人科
IP IN カセット	1	更新	放射線科
HL ストレッチャー	1	更新	北 4 階病棟
電子カルテソフト	1	増設	医事課
オンライン資格確認システム（補助金）	1	新設	医事課
ゆで麺機	1	更新	職員食堂

【2021 年度施設・設備整備状況】

改修・修繕（修理）・模様替え・補修
南棟大部屋エアコン更新工事
PCB 廃棄物処分
樹木剪定管理

【2021 年度教育研修実施状況】

研修名（研修タイトル）	年月日	開催場所	出席者数
「SARS-CoV-2：ワクチン接種」～アナフラキシー対応～	2021. 4. 16	第 1 会議室	35 名
インシデントレポートの必要性和活用について	2021. 7. 15 ～9. 30	e-ラーニング	324 名
COVID-19 感染症の現状～ワクチン接種後の感染対策～	2021. 8. 27 * 視聴期間 9/21～10/8	・会議室 ・院内各部署にて ZOOM：同時配信にて聴講 ・e-ラーニング //	322 名
患者クレーム対応	2021. 11. 1 * 視聴期間 11/1～11/30	・会議室 ・院内各部署にて ZOOM：同時配信にて聴講 ・e-ラーニング	336 名

注：その他計画していた集合研修は、コロナ感染防止の観点から開催していない。

<2021 年度さくらまち保育所>

項 目	実 績
保育児数	保育児延べ数 1,527 人（前年度 1,524 人）
	平日 1,486 人、休日 41 人（前年度平日 1,456 人、休日 68 人）
24 時間保育	延べ回数 46 回（前年度 64 回）
	延べ保育児数 64 人（前年度 126 人）
職員数	延べ数 1,624 人（前年度 1,437 人）
行事等	定期健康診断 5 月、11 月

<2021 年度病児病後児（さくらんぼ保育室）（2019.11.21 開設）>

項 目	実 績
保育児数	保育児延べ数 8 人（前年度 2 人）
職員数	延べ数 11 人（前年度 2 人）

<2021 年度桜町児童ショートステイ>

項 目	実 績
短期入所 利用者数	292 人（前年度 324 人）
利用日数	571 日（前年度 803 日）
日中一時支援利用者数	70 人（前年度 111 人）
利用日数	89 日（前年度 186 日）
利用者住所地	小金井市、小平市、西東京市、武蔵野市

4. 公益事業部門

I 小金井訪問看護ステーション（訪問看護）

【2021年度利用状況報告】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
医保利用者	6	5	5	5	6	5	5	6	6	5	4	4	5
訪問件数	26	21	25	23	32	25	23	24	25	18	13	16	23
介保利用者	35	35	36	33	33	34	34	34	38	34	32	33	34
訪問件数	187	156	183	165	165	161	168	162	167	148	138	153	162
介護予防者	6	5	5	5	6	5	5	6	6	5	4	4	5
訪問件数	22	23	19	17	17	16	17	19	20	21	8	13	18
(訪問リハ件数)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
訪問件数全体計	235	200	227	205	214	202	208	205	212	187	159	182	203

【職員】

	2021年4月1日 の職員数			年間退任・就任						2022年4月1日 の職員数		
	正職員	非常勤職員	合計	正職員		非常勤職員		合計		正職員	非常勤職員	合計
				就任	退任	就任	退任	就任	退任			
所長	1		1							1		1名
看護師	2	2		1	1			1	1	2	2	4名
合計	3	2	5	1	1			1	1	3	2	5名

【施設運営状況】

- ・2021年度は前年度同様新型コロナウイルス感染症対応に追われた年であった。スタッフ家族の濃厚接触やスタッフ自身体調不良となるなど4回ほど訪問件数を減らしての対応となった。幸いスタッフに感染はなかったが、介護保険の利用者は他のサービスとの都合で訪問の曜日・時間を変更できない方が多く、結果訪問を休むこととなり、利用者方にご迷惑をおかけした。24時間対応は継続していることでガン末期、老衰の方への看取りの支援は行えたが、数を増やしての支援は行えなかった。ターミナル期の方の支援では訪問診療との連携となり24時間体制での支援を行うことが必要となるため、常勤スタッフ2-3名の規模では支えられる人数は決まってしまう状況にある。
- ・スタッフ研修はオンラインで行えることが増えていることで全員が取り組むことができた。新人研修では病院での技術研修を受ける事ができた。
- ・地域との連携では、市主催の連携部会への参加や小金井市内の事業所との連携会議への参加、地域の介護事業所にむけ認知症研修の講義を行うなど、地域への貢献を心がけていった。
- ・ここ数年新規依頼は減少の一途である。昨年度桜町病院からの新規は年間5名と非常に少ない状

況にあり、病院スタッフによる訪問リハビリは再開できずにいる。現在小金井市内には15か所のステーションがあり、職員の状況も変化し30代男性の訪問看護師も増えている。事業の継続を考える時スタッフ小人数では対応困難である。訪問リハビリが再開できないなど、利用者獲得に向けられない要因が多々あり、病院併設のステーションとしての意義を考えると、ステーションのあり方を変える段階にある。

【利用者支援状況】

- 利用者数（年間登録者）… 61名（男18名 女43名）（前年度80名）
- 利用者の住所…小金井市61名
- 主治医（利用者 61名）
桜町病院25名（前年度より-10名）
その他の医療機関病院8名（前年度より-5名）・市内の開業医院17名（前年度同じ）・
他市の開業医院2名（前年度同じ） 訪問診療9名（前年度より-4名）
- 新規利用者紹介もと
2021年度新規利用者13名（前年度25名）

包括	ケアマネ	医療機関	市役所	その他
3	8	2	0	0

※新規者
桜町病院主治医5名
(前年度11名)

- 訪問終了者20名（前年度32名）

終了理由

死亡	入院	特養・グループホーム	有料ホーム	老人保健施設	他STへ移行	その他
3	11	1	0	0	3	2

【教育研修】

- ・コロナ感染症予防のため研修受け入れは中止

職員研修・オンライン研修

研修名	年月日	主催	出席者
地域包括ケアの連携	6/16	大塚製薬	高橋
精神科医療セミナー	6/29	大日本住友製薬	高橋
新型コロナ感染対策	8/17	笹川保健財団	當山
防災対策	9/4	ステーション内	全員
レビー小体認知症	10/12	大日本住友製薬	高橋
特別養護老人ホーム	10/20	小金井市多職種連携部会	當山
訪問看護集団指導	10/25	東京都福祉保健局	全員
認知症ケア	11/25	千駄木訪問看護	丸茂
虐待防止	12/14	ワイズマン	當山
※新人研修	2021年1/24 入職後～	ステーション内・桜町病院病棟・ZOOM研修	

Ⅱ 聖ヨハネホスピスケア研究所

【活動状況報告】

年度初めから、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、ボランティア活動も自粛することを決め、音楽療法についても緊急事態宣言の発出を受けて、活動を自粛することとした。

ホスピスセミナー、講演会、ボランティア講座、研修会などの活動もすべて中止することとなった。

2022年度については、このような状況を踏まえて、1年間の活動休止を理事会で決定した。

【職員】

特になし。

【施設運営状況】

特になし。

【施設整備状況】

特になし。

5. 収益事業部門

施設名 : シニアハイムさくら (高齢者賃貸住宅)

【施設運営】

小金井の地で医療・介護・福祉サービスを展開している中で、入院や特養入所にいたる前の段階で小規模でも安心して生活できる場の形成が必要との考えから、高齢者賃貸住宅を提供することの意義があると考え本事業をスタートし7年目を迎えた。地域包括ケアシステムを構築する過程で老後を自宅又は小金井市内にて居住したいとの要望は大変高いが、全くの在宅独居の生活は不安だという高齢者の方の住まいが求められており、高齢福祉部門としても介護保険事業だけでは本来目指そうとしている高齢者の安心につながるサポートを充実できないという考えでこの事業を開始した。対象者は自立された方で在宅介護サービスを利用し自立生活可能な方とし、介護スタッフは配置せず管理人を配置し、ケアマネジャーは桜町ケアマネジメントセンターが基本的に受け持つという基本方針で進めることとなった。

これまでの経験から、利用者の前住居の整理、荷物の取捨選択といったところに時間をかなり要することがわかってきた。また入居後に身体の衰えなどで特養への入所に移ってしまうケースも予想していた以上に多いということがわかった。今後は積極的な入居は行わないこととしたい。

【2021年度利用状況報告】

種別	定員	1日平均利用者数	2021年度利用率
シニアハイムさくら	5室	1名	20.0%

【施設整備状況】

特になし

三 理事会

第 330 回 2021 年 4 月 21 日（水）zoom によるリモート開催

(1) 決議事項

第 1 号議案 2021 年度運営協議会委員の選任の件

第 2 号議案 桜町病院南棟エアコン更新工事の件

第 3 号議案 諸規程の制定及び改訂の承認の件

(1) 桜町聖ヨハネホーム運営規程

(2) 桜町高齢者在宅サービスセンター運営規程

(3) 本庁高齢者在宅サービスセンター運営規程

(4) 経理規程

第 4 号議案 施設長等の人事の件

(2) 報告事項

報告事項 1 桜町病院の在り方検討の件

報告事項 2 予算等の執行の件

報告事項 3 桜町聖ヨハネホームの組織体制等に関する取り組みの件

第 331 回 2020 年 5 月 19 日（水）zoom によるリモート開催

(1) 決議事項

第 1 号議案 役員等賠償責任保険契約の承認の件

第 2 号議案 諸規程の制定及び改訂の承認の件

(1) 高齢福祉部門職員給与規程

(2) 決裁権限規程

第 3 号議案 桜町聖ヨハネホーム大規模改修の件

第 4 号議案 施設長等の人事の件

(2) 報告事項

報告事項 1 桜町病院の在り方検討の件

第 332 回 2020 年 6 月 2 日（水）zoom によるリモート開催

(1) 決議事項

第 1 号議案 2020 年度監事監査報告の承認の件

第 2 号議案 2020 年度事業報告及び計算書類等の承認の件

第 3 号議案 社会福祉充実残額の承認の件

第 4 号議案 次期評議員候補者の選出の件

第 5 号議案 次期役員候補者の選出の件

第 6 号議案 法人の主たる事務所の所在地変更の件

第 7 号議案 定款変更届申請の承認の件

第 8 号議案 定時評議員会の招集事項決定の件

第 9 号議案 名誉理事長の選任の件

(2) 報告事項

報告事項1 理事長及び業務執行理事の職務執行状況の報告について（下半期実績報告）

第333回 2021年6月21日（月）zoomによるリモート開催

(1) 決議事項

第1号議案 理事長1名選定の件

第2号議案 業務執行理事選定の件

第3号議案 評議員選任解任委員4名選定の件

第334回 2021年7月21日（水）zoomによるリモート開催

(1) 決議事項

第1号議案 桜町聖ヨハネホーム大規模改修の件

第2号議案 諸規程の制定及び改訂の承認の件

(1) 決裁権限規程

第3号議案 定款変更届申請の承認の件

第4号議案 評議員会の招集事項決定の件

第5号議案 さくら配食事業の廃止に関する承認の件

第6号議案 福祉医療機構との契約に関する保証人変更の件

(2) 報告事項

報告事項1 桜町病院の在り方検討の件

報告事項2 桜町病院業務アセスメントの件

第335回 2021年8月18日（水）zoomによるリモート開催

(1) 決議事項

第1号議案 桜町聖ヨハネホーム改築の件

第2号議案 諸規程の制定及び改訂の承認の件

(1) 決裁権限規程

第3号議案 桜町病院食器洗浄及び職員食堂業務委託終了の件

第4号議案 高齢福祉部門組織体制の件

(2) 報告事項

報告事項1 桜町病院の在り方検討の件

報告事項2 会計監査における検討事項の件

第336回 2021年9月22日（水）zoomによるリモート開催

(1) 決議事項

第1号議案 高齢福祉部門組織体制の件

第2号議案 寄付金募集の件

第3号議案 諸規程の制定及び改訂の件

(1) 桜町病院 職員給与規程

(2) 報告事項

報告事項1 桜町病院の在り方検討の件

第 337 回 2021 年 10 月 27 日（水）zoom によるリモート開催

(1) 決議事項

第 1 号議案 桜町病院の在り方検討の件

第 2 号議案 諸規程の制定及び改定の件

(1) 高齢福祉部門 職員就業規則

第 3 号議案 一般社団法人小金井市観光まちおこし協会への会員登録及びセミナー農園事業運営パートナーの件

(2) 報告事項

報告事項 1 業務アセスメント報告の件

報告事項 2 富士聖ヨハネ学園清掃委託業務契約変更の件

第 338 回 2021 年 11 月 24 日（水）zoom によるリモート開催

(1) 決議事項

第 1 号議案 2021 年度第一次補正予算の承認の件

第 2 号議案 桜町病院の在り方検討の件

第 3 号議案 桜町聖ヨハネホーム改築の基本計画策定のための設計会社選定の件

第 4 号議案 評議員会の招集事項決定の件

(2) 報告事項

報告事項 1 理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告の件（上半期実績報告）

第 339 回 2021 年 12 月 22 日（水）zoom によるリモート開催

(1) 決議事項

第 1 号議案 桜町聖ヨハネホームの建て替えに関する方向性の件

第 2 号議案 2022 年度予算編成方法の件

第 3 号議案 本町高齢者在宅サービスセンターの将来の在り方の件

第 4 号議案 セミナー農園事業の件

第 340 回 2022 年 1 月 26 日（水）zoom によるリモート開催

(1) 決議事項

第 1 号議案 法人の事業に関する方向性の件

第 2 号議案 2022 年度予算編成方法の件

第 3 号議案 本町高齢者在宅サービスセンターの将来の在り方の件

第 4 号議案 町おこし協会セミナー農園事業の件

第 5 号議案 施設長等の人事の件

第 6 号議案 諸規程の制定及び改定の承認の件

(1) 高齢福祉部門職員給与規程

第 341 回 2022 年 2 月 24 日（水）zoom によるリモート開催

(1) 決議事項

第 1 号議案 2021 年度第二次補正予算の承認の件

第 2 号議案 施設長等の人事の件

(2) 報告事項

報告事項1 桜町病院の在り方検討の件

第342回 2022年3月16日(水) zoomによるリモート開催

(1) 決議事項

第1号議案 2022年度事業計画及び予算の承認の件

第2号議案 諸規程の制定及び改訂の承認の件

(1) 富士聖ヨハネ学園運営規程

(2) 高齢福祉部門組織規程

第3号議案 評議員会の招集事項決定の件

第4号議案 聖ヨハネホスピスケア研究所事業(公益事業)の件

(2) 報告事項

報告事項1 東京都による実地検査結果報告の件

四 評議員会

第104回 2021年6月21日(月) zoomによるリモート開催

(1) 報告事項

報告事項1 2020年度監事監査報告の件

報告事項2 2020年度事業報告の件

(2) 決議事項

第1号議案 2020年度計算書類等の承認の件

第2号議案 社会福祉充実残額の承認の件

第3号議案 新役員の選任の件

第4号議案 法人の主たる事務所の所在地変更の件

第5号議案 定款変更届申請の承認の件

第105回 2021年8月5日(木) zoomによるリモート開催

(1) 決議事項

第1号議案 定款変更届申請の承認の件

(2) 報告事項

報告事項1 桜町聖ヨハネホーム大規模改修の件

第106回 2021年12月3日(金) zoomによるリモート開催

(1) 決議事項

第1号議案 2021年度第一次補正予算の承認の件

(2) 報告事項

報告事項1 桜町病院の在り方検討の件

報告事項2 桜町聖ヨハネホーム改築の基本計画策定の件

第107回 2022年3月31日(木) zoomによるリモート開催

(1) 決議事項

第1号議案 2022年度事業計画及び予算の承認の件

(2) 報告事項

報告事項1 東京都による法人実地検査の件

五 経営会議

2021年5月26日（水）zoomによるリモート開催

【報告事項】

- (1) 月次報告（2021年3月）について
- (2) 理事会・評議員会報告

【議案】

- (1) 2020年度決算報告について
- (2) 法人人事について
- (3) 法人の主たる事務所の所在地変更について
- (4) 桜町聖ヨハネホーム園長人事について

2021年6月23日（水）zoomによるリモート開催

【報告事項】

- (1) 月次報告（2021年4月）について
- (2) 理事会報告
- (3) 新型コロナウイルス関連
 - (ア) 居宅サービス従事者のワクチン接種
 - (イ) 山梨地区クラスター事例

【議案】

- (1) さくら配食の取り扱いについて
- (2) 桜町聖ヨハネ祭について
- (3) 戸塚神父様墓参について
- (4) SNSについて
- (5) 自動車保険について
- (6) 桜町地区の防火管理について

2021年7月28日（水）zoomによるリモート開催

【報告事項】

- (1) 月次報告（2021年5月度）について

【議案】

- (1) 桜町聖ヨハネホーム大規模改修について

2021年9月22日（水）zoomによるリモート開催

【報告事項】

- (1) 月次報告（2021年6月7月）について
- (2) 理事会報告について

【議案】

- (1) 2021年度補正予算について

2021年10月27日（水）zoomによるリモート開催

【報告事項】

- (1) 月次報告（2020年8月）について
- (2) 寄付金報告について
- (3) 理事会報告について

【議案】

- (1) 本町けやきの杜計画について
- (2) 法人の継続性に関する会計監査人からの指摘について

2021年11月24日（水）zoomによるリモート開催

【報告事項】

- (1) 月次報告（2021年9月）について
- (2) 理事会報告について

【議案】

- (1) 会計監査（中間）について

2021年12月22日（水）zoomによるリモート開催

【報告事項】

- (1) 月次報告（2021年10月）について
- (2) 理事会・評議員会報告について

【議案】

- (1) 理事長と各施設との懇談について
- (2) 小金井市社会福祉法人連絡会について

2022年1月26日（水）zoomによるリモート開催

【報告事項】

- (1) 月次報告（2021年11月）について
- (2) 理事会・評議員会報告について

【議案】

- (1) 2022年度予算編成留意点等について
- (2) 2021年度第二次補正予算について

2022年2月24日（水）zoomによるリモート開催

【報告事項】

- (1) 月次報告（2021年12月）について
- (3) 理事会・評議員会報告

【議案】

- (1) 2021年度第二次補正予算について
- (2) 2022年度入職式について
- (3) 2022年度事業計画／予算ヒヤリング日程について
- (4) 介護職員不足支援制度活用について

2022年3月23日（水）zoomによるリモート開催

【報告事項】

- (1)月次報告（2022年1月）について
- (2)理事会・評議員会報告
- (3)本町けやきの杜特養工事計画について

【議 案】

- (1) 2022年度事業計画及び予算について
- (2) 東京都実地検査結果について
- (3) 看護部門の交流等について